

関大

第572号

平成24年(2012年)11月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

学校法人関西大学新役員決まる

理事長に池内啓三氏、常務理事に永田眞三郎氏

平成24年度校友総会に1000人が集う

代議員選考委員会で新代議員の選考作業進む

理事長就任にあたって

理事長 池内 啓三

学長2期目の就任にあたって

学長 楠見 晴重

GP中国杯で町田樹がシリーズ初優勝

海外支部だより

サイゴン千里会・シンガポール千里会・泰国千里会



おめでとうございます—秋の叙勲・褒章

政府は、11月3日付で平成24年度秋の叙勲受章者を、2日付で褒章受章者を発表しました。それに先立ち10月13日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をご存じの方は校友会事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

◆瑞宝重光章

鳥越健治（とりごえ・けんじ）70歳。法務研究科教授、元広島高裁長官。木津川市。

◆瑞宝中綬章

二宮まや（にのみや・まや）78歳。名誉教授・元文学部教授。川西市。

守谷基明（もりや・もとあき）昭36D経 79歳。名誉教授・元経済学部教授。八幡市。

渡辺雅文（わたなべ・まさふみ）昭43M法 70歳。松山市。

家裁所長。池田市。

◆旭日小綬章

田中 章博（たなか・あきひろ）昭34学経 76歳。元兵庫県議会議員。西宮市。

松下 孝（まつした・たかし）昭38学商 73歳。元大東市議会議員。大東市。

◆瑞宝小綬章

榎林經二（くればやし・けいじ）昭30学法 79歳。元京都五条警察署長。京都市。

小杉泰弘（こすぎ・やすひろ）昭32学法 77歳。元和歌山西警察署長。和歌山市。

中間敬式（ななかま・けいいち）昭41学商 78歳。名誉教授・元商学部教授。宝塚市。

濱本啓義（はまもと・ひろよし）昭41学法 70歳。元大阪府議会事務局長。松原市。

東峯 昇（ひがしみね・のぼる）昭40学法 73歳。元奈良県総務部知事公室長。橿原市。

村上隆吉（むらかみ・りゅうきち）昭46学法 75歳。元近畿郵政監察局大阪東部郵政監察室長。泉南市。

◆旭日双光章

平木達郎（ひらき・たつお）昭41学法 70歳。元三重県青色申告会連合会長。伊賀市。

◆瑞宝双光章

畦西繁夫（あぜにし・しげお）昭36学法 78歳。元山口大学医学部事務部次長。豊中市。

鍵田松雄（かぎた・まつお）昭34学経 76歳。保護司。尼崎市。

小谷勝明（こたに・かつあき）昭41学経 70歳。元日本郵政公社職員。兵庫県美方郡香美町。

進藤輝夫（しんどう・てるお）昭35学経 74歳。保護司。大阪市。

中川善通（なかがわ・よしみち）昭37学文 72歳。保護司。大阪市。

◆瑞宝単光章

森本彦次（もりもと・ひこつぐ）昭32短大1 75歳。元京都市山科消防団副団長。京都市。

危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章

石原常博（いしはら・つねひろ）昭47M法 67歳。元神戸市消防正監。神戸市。

高田貞裕（たかだ・さだひろ）昭39学文 70歳。元大阪府警視。藤井寺市。

高松健之（たかまつ・けんじ）昭42学文 68歳。元堺市高石市消防組合消防司令長。堺市。

滝本 清（たきもと・きよし）昭40学法 70歳。元大阪府警視。泉南市。

中瀬忠男（なかせ・ただお）昭42学経 68歳。元和歌山市消防監。和歌山市。

森下俊明（もりした・としあき）昭39学法 70歳。元警視正。茨木市。

◆瑞宝単光章

澤田幸正（さわだ・ゆきまさ）昭39学法 71歳。元兵庫県警視。神戸市。

西岡忠興（にしおか・ただおき）昭41学文 70歳。元大阪府警視。河内長野市。

褒章

◆黄綬褒章

嘉納秀一（かのう・しゅういち）前法人評議員。元教育後援会会長。64歳。三宝電機社長。芦屋市。

◆藍綬褒章

北田敏雄（きただ・としお）昭46学工 63歳。大東市消防団副団長。大東市。



■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般



ジロン自動車株式会社



昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：（平日）9:00～19:00（日祝）10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

ホームページ最新ニュース＜What's New＞毎日更新！

ジロン自動車

で

検索

関大 572号 目次

大学関係

- 2 **理事長就任にあたって**
学校法人関西大学理事長 池内 啓三
- 学長2期目の就任にあたって**
関西大学学長 楠見 晴重

4 学校法人関西大学新役員決まる

理事長に池内啓三氏、常務理事に永田眞三郎氏が就任
評議員会議長に栗原宏武氏、副議長に燈田進氏

教学の新執行部が発足

本部活動

- 8 **平成24年度校友総会に1000人が集う**
上原前理事長を特別表彰 感銘与えた金美齢氏の記念講演
- 12 **35氏に代議員選考委員を委嘱**
12月中旬の答申に向け選考作業進む
- 若手校友落語家応援「関大寄席2012」を開催**
- 14 **連携プロデューサーの企業訪問—ものづくりの現場のいま— (8)**

大学・学生関係

- 16 **春学期卒業式と秋学期入学式を挙行**
留学生別科秋学期入学式 7つの国・地域から49人が入学
- 校友の根岸氏が幕末期史料10点を寄贈**
- GP中国杯で町田樹がシリーズ初優勝飾る 高橋は2位**
- 20 **好友抄〈3〉 藤木 吾朗生氏 (宝塚支部)**
- 22 **海外支部だより 会と催し**
- 26 **北から南から〈各地支部だより〉**
- 42 **新刊紹介 校友トピックス 計報**



草の甲

東日本大震災の被災地である福島県いわき市を昨年暮に訪ねた際、住民から生の声を聞くことができた▼第1の希望は、風評被害を無くして欲しいこと。福島県の農作物等が全く売れなくて困っておられた。だから福島県に出来るだけ沢山の方々に訪問してもらい、安全性をアピールして欲しいと言われておられました。第2に、心のケアを希望されていました。震災で、両親を亡くしたり、家族を失い、悪夢にうなされて眠れない人が大勢おられ、専門家による心のケアが必要とのことでした。▼またこの夏、宮城県南三陸町に赴き、地場産品直売所「みなさん館」に冷蔵・冷凍設備を支援しました。住民の皆さまが協力しながら復興に努めておられる姿には感動しました▼その際、町職員の遠藤未希さんが、防災無線で「早く逃げて下さい」と避難を呼びかけ続け、津波の犠牲になられた現場である防災対策庁舎を訪れた。庁舎自体は、津波によって跡形もなくなるほど壊滅していた▼庁舎には、仏像が安置され、供花されていて、ある女子高生の団体が、霊を慰めるため歌を合唱しており、涙を流している生徒も見ました。私も思わず涙を流しました▼さらに、少し高台にあった老人施設も危ないと感じた近くの高校の体育館員らが、老人達を介助しながら脱出させ、全員が無事だったとの話も聞いた。私は、日本人は温かい心を持っており、この絆を大切にすれば必ず復興できると確信しました。一日も早く復旧・復興できることを、心から祈っています。

理事長就任にあたって

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三

理事長就任にあたり、全国各地の校友の皆様にごあいさつを申し上げます。

このたび、学校法人関西大学理事長の重任を拝することとなりました。身にあまる光栄と存じつつ、その使命・責任の重大さに、身も心も引き締まる思いがいたします。

私は、昭和40年に本学文学部新聞学科を卒業後、事務職員として40年間、常務理事、専務理事として8年間、関西大学一筋に歩んで参りました。したがって、本学の良いところ（強み）も知っています（弱み）が、逆に、悪いところ（弱み）も熟知しているつもりであります。

す。

「教育機関としての使命」は「学生・生徒・児童・園児たちに対する教育力をいかに高めるか、言い換えれば「どう付加価値をつけてやるか」、「彼ら、彼女らの心に、どのように火をつけて、その成長をサポートしてやるか」に尽きるのではないかと考えています。

このことを実現するには、340名の教職員が総力を結集して、学生、生徒等、計3万4942名の教育に、全身全霊を尽くす他はありません。そして、「この学校に入ってきた」、「この学校で学ぶことで、真の力が身についた」、「良



い先生に導いていただいた」、「職員が親身になって相談に乗ってくれた」と感じてもらい、最後には、「この学校、大学で学び、卒業して良かった」と言ってもらえるよう、これからも教職員

の皆様と共に取り組んでまいり所存であります。

さて、ご高承のとおり、私学は、かつてないほど厳しい環境の中にあります。

少子高齢化が確実に進行する中、大学数は増え続け、もはや飽和状態となつて久しいところであります。平成24年度の学校基本調査によりますと、大学数は783校、うち私立大学は605校で、全体の77・3%を占めています。ところが、定員を充足している私立大は、4年制大学で54・2%と、およそ半分でしかありません。短期大学に至っては、約7割の学校が定員割れしているという、深刻な状況にあります。

国内外の社会状況、産業構造は、1990年代から20年余りの間に激変しました。それにも関わらず、日本の大学はそのことから目を背け、中身を変えようとはしませんでした。ここに、現在の社会と大学が考える人材育成のミスマッチが生じ、ひいては、将来の国力

低下が懸念されるという事態を招いています。

このような状況のなか、文部科学省は今年、相次いでこれからの高等教育のありかたに関する答申や指針を発表しました。これは、現在の高等教育が国民からの期待に充分応えられていないことに対する危機感の表れでもあり、各大学に改革の真の力量を問うものである、と認識しています。本学におきましても、楠見学長のイニシアチブで、これらに 대응する教学改革に取り組んでいただけのもので期待しております。

また、「我が国における今後の教育の全体像」に関しても、様々な課題が表出しています。

日本をはじめとする、先進国の多くにおいて、高等教育への進学率は50%を超え、もはや高等教育は「ユニバーサル時代」を迎えております。ところが、大学生のうちの25歳以上の平均在籍率を見ても、OECD加盟国平均が20%であるのに対し、我が国においては、わずか2%であります。国といたしましても、今後、「学びと就業の行き来が可能な、循環型生涯学習社会の実現」を期して、「人生の様々な段階に応じ、学習環境を体系的に整備すること」が必要

である」としています。

今後は、学士課程を修了しいったん社会に出た方々に対する「学び直しの場」として、どのようなユニバーサル・アクセスを提供できるかが、我々に与えられた課題のひとつであり、更なる飛躍のヒントになると考えております。学ぶ意欲にあふれた社会人やシニア、留学生といった、多様な学生の存在は、一般学生にとって大いに刺激となりますし、ひいては、大学全体の「質の向上」にもつながるものと、期待しております。

関西大学は、4年後の2016年に創立130周年を迎えますが、長き歴史の中で、「今」・「これから」を託された私どもには、更なる充実発展に努め、未来へ引き継ぐという、重大な使命があることを肝に銘じております。関西大学が、歴史や伝統に甘んじることなく、着実に前進するよう、校友の皆様方と手を携えてまいりたいと存じますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

学長2期目の就任にあたって

関西大学 学長 楠見 晴重

本年10月より、引き続き2期目の学長を務めることとなりました。これから4年間、校友の皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

現在の関西大学の隆盛は、42万人になろうとする校友の皆様、これまでの社会での活躍と関西大学に対する日頃のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

私は、昭和49年に関西大学工学部に入學以来、約40年間、学部、大学院、そして教員と、一貫して関大人の道を歩いてまいりました。この間に出会い、また、諸先生、諸先輩、職員の方々、そして多くの友人、卒業生たちに育てられ、守られ、まさに生え抜きとして、ここまでや

つてまいりました。関西大学で生まれた縁に感謝し、関西大学の発展のために一生懸命働くことを、改めて強く決意しております。

関西大学校友会の歴史をひも解きますと、大学の前身「関西法律学校が明治22年に、第1回卒業生17名を送り出しております。その後、年ごとに卒業生を加え、校友として集まろうとの機運が高まり、明治30年12月に大阪天満宮の向かいにある「相生楼」で、諸先生を迎えて懇親会を開いたと伝えられています。これが校友会の誕生であり、以来110年を超える歴史を誇っております。私自身も、校友の一人として誇りに思いますとともに、先輩諸氏の社会での活躍と貢献を深く知るにつけ、その感を深くしております。

さて、ご承知のように、関西大学は現在13学部、12大学院研究科、3専門職大学院、1別科を擁する総合大学として、大阪



府内の4つのキャンパスに大学生、大学院生、留学生約3万人が学んでいます。3年前に学長就任時に、関西大学をアジア・太平洋地域と日本の各地域を結ぶ「ハブ大学」として機能させたいと抱負を述べましたが、これをさらに進めて実質化していく所存です。

世界はグローバル化が進展し、人、物、情報は国境を越えて行き交い、すでにボーダレスの時代に突入しています。大学の使命の1つは、社会に対して有為な人材を送り出すことですが、専門分野の知識を教授することに加えて、いまやグローバル化に適応できる人材の育成も重要な使命となっています。今後、さらに教育内容の充実を図り、様々な国際化教育プログラムを展開してまいります。この国際化教育の一例として、日本語別科を中心として、優秀な留学生を確保して、キャンパス内で様々な国の学生と異文化コミュニケーションが体験でき、自然と国際理解を深め、国際感覚を身につけるようなキャンパスを作ってまいります。

また、本学には世界的な先端研究成果、独創的な研究成果が数多く蓄積されていますが、これらを更に発展させると同時に、大学院生の国際学会での研究報告を奨励し、本学での国際シンポジウムの開催を促進するなど、本学の研究を広く世界に発信していく仕組みを強化していきます。これにより、世界における本学のプレゼンスを高めて行きたいと考えています。

グローバル化が強調される現在ですが、関西大学は、大阪で生まれ、大阪に根づいた大学であることも忘れてはなりません。本学は、地元・大阪から学び、大阪に対して人材の育成や研究成果の還元など、様々な貢献をしてまいりました。また、本学にはこれまで多くの「なにわ・大阪」に関わりのある研究、貴重な資料が蓄積されています。その一例として、江戸時代後期に漢学塾として開設された「泊園書院」に関わる資料が挙げられます。泊園書院は、幕末期には大阪最大の私塾として栄えました。さらに泊園書院と草創期の関西大学の教育には深い繋がりがあり、戦後、同書院の貴重な資料が本学図書館に寄贈され、「泊園文庫」として収蔵されています。今後はこの泊園書院を、関西大学の知的源流の一つとして加えていきたいと思ひますし、総合

科学の観点から「なにわ・大阪学」の拠点としても、更なる充実を目指していく所存です。

最後にさらに付言いたしますと、関西大学は、この秋、私の学長としての再任と、新しい理事長、常務理事を迎え、新たな方向へ明確に舵を切りました。

大学及び日本を取り巻く、厳しい環境の中で、経営についても教育・研究についても、127年の伝統に誇りを持ちつつ、古い因習、体質は大胆に改革していかねばなりません。そして、大学の持つあらゆる資源を教育と研究の質の向上に対し投入していかなければなりません。教育と研究の自身で勝負する大学として、様々な施策を打ってまいりたいと思ひます。

大阪にしっかりと根を下ろし、地域社会に貢献しつつ、グローバルな人類社会に貢献できる教育と研究を進める、そして、関西大学をさらに高いステージで活動する大学にすべく、これから4年間、池内理事長とともにしっかりと舵取りを行っていく所存です。

今後とも、本学の教育に対するご理解とご支援を校友会の皆様、校友の皆さまの益々のご活躍と、校友会の益々の発展を祈念いたしまして、学長2期目にあたってのご挨拶といたします。

学校法人関西大学 新役員決まる

**理事長に池内啓三氏、常務理事に永田眞三郎氏が就任
評議員会議長に栗原宏武氏、副議長に燈田進氏**

10月1日に千里山キャンパス百周年記念会館において、臨時評議員会及び理事会が開催された。臨時評議員会においては、評議員会議長に栗原宏武氏、同副議長に燈田進氏が選任された。その後、臨時理事会において、新理事長に池内啓三氏（前専務理事）、常務理事に永田眞三郎氏（元学長）が選任された。任期は平成24年10月から4年間。

臨時評議員会では、まず、栗原宏武議長・燈田進副議長が選任された。

次に、評議員理事選考委員会において、校友評議員のうちから選出される理事10人が選任された。池内啓三氏、片山久江氏、葛村和正氏、小寺一矢氏、小松陽一郎氏、佐藤弘一氏、寺内俊太郎氏、南部靖之氏、その後就任辞退、西村嘉郎氏、山田拓幸氏（50音順）。

これを受けて臨時理事会が開催され、理事長に池内啓三氏、常務理事に永田眞三郎氏が選任された。

また、常任理事には岡田弘行氏（大学本部長・学長室長事務取扱）、木谷晋市氏（副学長）、五藤勝三氏（法人本部長・総務局長事務取扱、寺内俊太郎氏（校友会長）、吉田栄司氏（副学長）が選任され、相談役には上原洋允氏（前理事長）に委嘱す

ることが承認された。

その後、評議員会の同意を得て、石井國男氏、植田芳光氏、小坂裕次郎氏、萩尾千里氏が監事に選任された。

グローバル化の進展とともに高等教育機関を取り巻く環境が加速度的に変化するなか、新理事会には、常任理事会とともに、確固たる経営基盤の確立と諸改革を実行され、創立130周年を迎える伝統ある関西大学をゴーイング・コンサーン（「永続組織体、成長し続ける組織体」として、未来に継承していただきたい）。

なお、池内啓三理事長は、昭和40年3月文学部新聞学科を卒業、4月に学校法人関西大学に奉職。平成4年10月法人評議員（現在）、8年10月総務局長（17年3月）、12年10月理事（現在）、16年10月常務理事（20年9月）、17年4

法人新役員

●理事長 池内 啓三



昭40学文、
前専務理
事、69歳
(前)

●学長・理事 楠見 晴重



昭55M工、
環境都市
工学部教
授、59歳
(前)

●常務理事 永田眞三郎



昭47京大
D法単位
修得後退
学、名誉
教授、元

学長、68歳(新)

●常任理事 岡田 弘行



昭52学経、
大学本部
長（学長
室長事務
取扱、58
歳(前)

●常任理事 木谷 晋市



昭60関学
大D法単
位修得後
退学、副
学長、総

●常任理事 五藤 勝三



昭52学法、
法人本部
長（総務
局長事務
取扱、59
歳(前)

●常任理事 寺内俊太郎



昭46D工
単位修得後
退学、大阪
冶金興業
(株)代表

取締役、校友会長、68歳(前)

●常任理事 吉田 栄司



昭59京大
D法単位
修得後退
学、副学
長、法学

●理事 植村 邦彦



昭56一橋
大D社単
位修得後
退学、経
済学部長

60歳(新)

●理事 小川 博司



昭54東大
M社、社
会学部長
60歳(新)

●理事 小澤 守



昭52阪大
D工、社
会安全学
部長、62
歳(新)

●理事 柏木 治



昭59D文
単位修得
後退学、
文学部長
56歳(新)



●理事 葛原 力三

昭62 D法
単位修得
後退学、
法学部長、
53歳(新)



●理事 北田 伸治

昭53 島根
大文理、
財務局長、
58歳(前)



●理事 河田 恵昭

昭49 京大
D工単位
修得後退
学、社会
安全学部



●理事 河井 康人

昭53 京大
D工単位
修得後退
学、環境
都市工学



●理事 片山 久江

昭44 学法
弁護士、
68歳(前)



●理事 佐藤 茂雄

昭40 京大
法、大阪
商工会議
所会頭、
京阪電気
鉄道(株) 取締役相談役
71歳(新)



●理事 佐藤 弘一

役会長、70歳(新)

昭39 学法、
ネバダイ
ンターナ
ショナル
(株) 取締



●理事 小松陽一郎

昭51 M法、
弁護士、
64歳(新)



●理事 小寺 一矢

昭42 M法、
弁護士、
70歳(新)



●理事 葛村 和正

昭51 学工、
(株) ダイ
ネット代
表取締役、
教育後援



●理事 東郷 洋

昭48 学法、
理事長付
局長(内
部)監査室
長、校友
会事務局長、
61歳(前)



●理事 多川 則男

昭50 東北
大M工、シ
ステム理
工学部長、
61歳(新)



●理事 高屋 定美

平3 神大
D経単位
修得後退
学、商学
部長、48
歳(新)



●理事 角 和夫

昭48 早大
政経、阪
急阪神ホ
ールディ
ングス(株)
代表取締役
社長、63歳(前)



●理事 芝井 敬司

昭56 京大
D文退学、
文学部教
授、56歳
(前)



●理事 山縣 平蔵

昭39 京大
工、(株)
ヤマガタ
代表取締
役会長、
74歳(前)



●理事 堀 雅洋

平1 阪大
D基礎工、
総合情報
学部長、
51歳(新)



●理事 藤本 清高

昭54 学社、
総合企画
室長兼広
報室長、
56歳(新)



●理事 橋本 定樹

昭53 大市
大理、一
高・一中
校長、56
歳(前)



●理事 西村 嘉郎

昭35 学文、
朝日放送
(株) 特別
顧問、75
歳(新)

思い出がよみがえる
ANSAI KU グッズ
UNIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凧風館3F 関大グッズコーナーにて販売しております



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

大学・学生関係



●監事 植田 芳光

昭48学工、
(株)池田
屋代表取
締役社長
63歳(新)



●監事 石井 國男

昭45学経
公認会計
士、67歳
(前)



●理事 吉原 健二

昭54学社、
キャリア
センター
事務局長
56歳(新)



●理事 吉田 宗弘

昭56京大
D農指導
認定退学、
化学生命
工学部長、
58歳(新)



●理事 山田 拓幸

昭48学商、
公認会計
士、61歳
(新)



●評議員会副議長 燈田 進

昭48学法、
税理士、
63歳(新)



●評議員会議長 栗原 宏武

昭39 M法、
名誉教授、
大阪府公
安委員会
委員長、
73歳(新)



●相談役 上原 洋允

昭32学法
・34大市
大M法、
前理事長、
弁護士、
78歳(新)



●監事 萩尾 千里

昭35学商、
(株)大阪
国際会議
場相談役、
75歳(新)



●監事 小坂裕次郎

昭43学法、
日本赤十
字社大阪
府支部監
査委員、
66歳(前)



◆副学長 木谷 晋市

(総務・渉
外担当)
総合情報
学部教授



前学長、
環境都市
工学部教
授

◆学長 楠見 晴重

7月4日の学長選挙で、楠見
晴重学長が次期(第41代)学長
に再選され、7月26日開催の理
事会の承認を得て、10月1日に
就任した。あわせて新副学長4
人、新学長補佐3人も10月1日
付で就任。教学の新執行部が発
足した。任期は平成28年9月30
日までの4年間。

教学の新執行部が発足

法人では、10月1日開催の臨
時理事会で、新たに一軸浩幸前
理事、児玉憲夫前評議員会議
長、森本靖一郎前理事・相談
役の3氏と前期から継続して愛
知和男、石川啓、植垣幸雄、小
坂道一、羽間平安、畑下辰典、
保井剛一、山田榮一、山本守昭
の9氏に学校法人関西大学の顧
問を委嘱することを決定した。

12氏に法人顧問を委嘱



◆学長補佐 西村 枝美

法学部教
授



◆学長補佐 青田 浩幸

化学生命
工学部教
授



◆副学長 吉田 栄司

(国際活動
推進担当)
法学部教
授



◆副学長 前田 裕

(研究・社
会連携推
進担当)
システム
理工学部
教授



◆副学長 林 宏昭

(教育推進
担当) 経
済学部教
授

THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社

〈本 社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島事業本部 / 東広島工場 / 九州営業本部 / 福岡営業所

◆学長補佐 山本 英一



外国語学
部教授

【関大人事】

10月1日付・敬称略

▽法学部長・法学研究科長
葛原力三教授 ▽法学部副
学部長 大津留智恵子教授、
小泉良幸教授 ▽文学部長・
文学研究科長・東アジア文化研
究科長 柏木治教授 ▽文学
部副学部長 乾善彦教授、中
澤務教授 ▽経済学部部長・経
済学研究科長 植村邦彦教授
▽経済学部副学部長 野坂博
南教授、李英和教授 ▽商学
部部長・商学研究科長 高屋定
美教授 ▽商学部副学部長
中嶋道靖教授、矢田勝俊教授
▽社会学部長・社会学研究科
長 小川博司教授 ▽社会学
部副学部長 清水和秋教授、
永井良和教授 ▽政策創造学
部部長・ガバナンス研究科長 小
西秀樹教授 ▽政策創造学部
副学部長 羽原敬二教授、三
枝憲太郎准教授 ▽外国語学
部部長・外国語教育学研究科長
竹内理教授 ▽外国語学部副
学部長 山崎直樹教授、吉田
信介教授 ▽人間健康学部部長

狭間香代子教授 ▽人間健康
学部副学部長 小田伸午教授
▽総合情報学部部長・総合情報
学研究科長 堀雅洋教授 ▽
総合情報学部副学部長 中河
伸俊教授、広兼道幸教授 ▽
社会安全学部部長・社会安全研
究科長 小澤守教授 ▽社会
安全学部副学部長 高橋智幸
教授、山川栄樹教授 ▽システ
ム理工学部部長 多川則男教授
▽システム理工学部副学部長
田實佳郎教授、和田隆宏教授
▽環境都市工学部長 河井康
人教授 ▽環境都市工学部副
学部長 秋山孝正教授、山本
秀樹教授 ▽化学生命工学部
長・理工学研究科長 吉田宗
弘教授 ▽化学生命工学部副
学部長 池田勝彦教授、大矢
裕一教授 ▽心理学研究科
長・心理学研究科心理臨床学
専攻長 寺嶋繁典教授 ▽心
理学研究科副研究科長 串崎
真志教授 ▽東アジア文化研究
科副研究科長 藤田高夫教授
▽法務研究科長 木下智史教
授 ▽法務研究科副研究科長
久保宏之教授 ▽会計研究科
長 富田知嗣教授 ▽会計研
究科副研究科長 松本祥尚教
授。

夫化学生命工学部教授 ▽学
生センター所長 黒田勇社会学
部教授 ▽学生センター副所長
赤尾勝己文学部教授、杉本厚
夫人間健康学部教授、田中成
典総合情報学部教授 ▽キャリ
アセンター所長 浜野潔経済学
部教授 ▽図書館長 内田慶
市外国語学部教授 ▽博物館
長 藪田貫文学部教授 ▽イン
フォメーションテクノロジーセ
ンター所長 柴田一文学部教授
▽法学研究所長 岡本哲和政
策創造学部教授。
▽教育推進部長 林宏昭副学
長 ▽教育推進部副部長 山
本敏幸教育推進部教授、関口
理久子社会学部教授 ▽研究
推進部長・社会連携部長 前
田裕副学長 ▽研究推進部副
部長 米田文孝文学部教授、
杉本貴志商学部教授 ▽社会
連携部副部長・産学官連携セ
ンター長・知財センター長 平野
義明化学生命工学部教授 ▽
社会連携部副部長・高大連携
センター長 山本冬彦文学部教
授 ▽地域連携センター長 西
村枝美法学部教授・学長補佐
▽国際部長 吉田栄司副学長
▽国際部副部長・国際教育セン
ター長 山本英一外国語学部教
授・学長補佐 ▽国際部副部
長・日本・EUセンター所長
田村裕化学生命工学部教授。



一般入試・センター利用入試の願書を校友の皆様に無料でお届けします!

2013年度 一般入試				
日程	試験日	学 部	試験地	
学部個別 日程	2/1(金)	文・経済・社会・政策創造・総合情報学部	①②	
	2/2(土)	文・システム理工・環境都市工・ 化学生命工学部		
	2/3(日)	経済・商・政策創造・外国語・社会安全学部		
	2/4(月)	法・文・商・人間健康・総合情報学部		
	2/5(火)	システム理工・環境都市工・ 化学生命工学部		
	2/6(水)	法・社会・外国語・人間健康・社会安全学部		
			</	

出願期間 ●学部個別日程 郵送・インターネット 2012年12/25(火)～2013年1/18(金)
●全学部日程 郵送・インターネット 2012年12/25(火)～2013年1/28(月)
●後期日程 郵送 2013年2/1(金)～2/20(水) インターネット 2/1(金)～2/21(木) 12時

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

2013年度 センター利用入試			
種別	個別学力検査実施日	学 部	試験地
センター前期	課しません	全学部	—
センター中期	2/7(木)	全学部 (商学部を除く)	①②③
	2/8(金)	全学部	
センター後期	課しません	全学部 (商・社会学部を除く)	—

出願期間 ●センター前期 郵送・インターネット 2012年12/25(火)～2013年1/18(金)
●センター中期 郵送・インターネット 2012年12/25(火)～2013年1/28(月)
●センター後期 郵送・インターネット 2013年2/1(金)～2/25(月)

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

全国28の都市に試験地を設置 ①大阪・東京・金沢・名古屋・和歌山・姫路・岡山・広島・高松・福岡 ②浜松・京都・神戸・松山 ③札幌・仙台・新潟・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・高知・小倉・熊本・鹿児島・沖縄

2013年4月、政策創造学部新たに「国際アジア法政策学科」を開設
政策創造学部ではこれまでの政策学科に加え、新たに「国際アジア法政策学科」を2013年4月に設置します。「国際アジア法政策学科」は、2013年度入試では「一般入試試験」「センター利用入試試験」「外国人学部留学生入試試験(1月募集)」の募集を行います。

全学部でセンター利用入試を実施!

全13学部でセンター利用入試を実施。1科目型から7科目型まで多様なパターンで受験可能。もちろん、一般入試との併願も可能。得意科目を生かしたり、併願により合格のチャンスが広がります。2013年度入試より、法学部と社会安全学部はセンター前期でそれぞれ「6科目型」を新設。

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項(願書)」をお届けいたします。

ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお役立てください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めをお願いいたします。また、本学へお越しいただいた方にも無料でお渡ししています。

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試広報グループ 関大願書請求「校友」係

FAX 06-6368-0903

入学試験に関するお問い合わせ

関西大学 入試センター 入試広報グループ
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1121(大代表)
<http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

関西大学

平成24年度校友総会 BIGホール100に1千人が集う

平成24年度校友総会は、10月21日（日）12時半から千里山キャンパス・第2学舎の「BIGホール100」で開催され、爽やかな秋晴れの中、京阪神はもとより全国各地から約1千人の校友が出席した。

第1部総会では、寺内俊太郎会長が挨拶の後、来賓を代表して、それぞれ10月1日付で法人と教学のトップに就任した池内啓三理事長と楠見晴重学長が今後の抱負を披瀝する挨拶を述べた。会務報に続き、今年は議事として「任期満了による代議員の改選」が付議され、審議の結果、新代議員の選出は選考委員会を設置して選考することとなった。最後に、恒例の記念品、感謝状贈呈が行われ、総会を終了。

第2部記念講演では、評論家・学校法人J・E・T日本語学校理事長の金美麗氏の「帰属意識を考えるー愛校と愛国についてー」と題する講演を熱心に拝聴。その後、凜風館に会場を移して行われた懇親会では、参加者が一堂に会して歓談、応援団の演舞を楽しみ、すがすがしい秋の一日を母校で満喫した。

新代議員は選考委員会を設置して選出 上原洋允理事長を特別表彰

第1部総会では、大東恭治・仁井ひろみ両総務副部長の司会で定刻に開会。大谷啓二副会長が開会の言葉を述べ、藤川真志応援団第90代副団長のリードで学歌を斉唱。寺西武元校友会会長、冬柴鐵三元国土交通大臣・法人顧問、姫路の工場タンク爆発で殉職された姫路市消防局・山本永浩副士長など、昨年の総会以降亡くなった校友・大学関係者の冥福を祈って黙祷を捧げた。

来賓紹介のあと、挨拶に立った寺内会長は、「強い関西大学を支える元氣な校友会」を会是に、「総力結集・創意工夫・熟

慮実行」のスローガンのもと、任期4年間で取り組んできた校友会の諸活動、および高槻ミュージキャンパス、堺キャンパスの開校など大学の主要な出来事、先生方の研究成果、バンクーバー五輪から直近のロンドン五輪まで学生のスポーツ・文化・学術での活躍などを、パワーポイントを使って詳しく紹介。また、法科大学院の現状を図表で示し、「関西大学の歴史を重く感じて、法科大学院の司法試験合格者を増やしてほしい。これはわれわれ校友の強い願望であり、母校への期待でもある」と述べ、最後に、今後の校友会

活動の指針として、(1)校友・理事の母校運営参加意識の向上、(2)校友・評議員の意識向上(4つの委員会活動の充実、①母校財政の把握、②少子化に伴う「高大連携」の深耕、③専門職大学院の動向、④SF入試制度について、⑤母校の件費費の実情把握)、(3)常議員の校友会・本部サポート強化、(4)代議員の地域支部活動意識の向上、(5)校友の積極的な校友会活動への参加、を示し、その実現に鋭意努力するので、校友の協力を仰ぎたいと結んだ。

来賓挨拶では、池内啓三理事長は、まず「大任を拝し、身の引き締まる思いですが、皆様からご指導・鞭撻を頂戴して、精一杯努力いたします」と決意を述べ、「現代社会は、将来の予



校友総会での顕彰者 (順不同・敬称略)

◆特別表彰 (1氏)

上原 洋允 (学校法人関西大学前理事長=昭32学法)

◆組織特別顕彰 (3団体)

備後支部 和泉支部 生野支部

◆組織顕彰 (4団体)

東住吉支部 関大チェリークラブ
鉄川謝交會 長砂ゼミ長友會

◆個人功勞表彰 (19氏)

桐原 琢磨 (鹿児島千里會會長=昭53学法)
石橋 孝彦 (北海道支部事務局長=昭52学法)
大山 惠嵩 (神奈川支部事務局長=昭45学商)
松本 定道 (愛知支部副支部長=昭34学経)
塚本 寿一 (宝塚支部副支部長=昭43学法)
山本 淑子 (芦屋支部副支部長=昭53学文)
斎藤 雅彦 (明石関大クラブ前幹事長=昭41学工)
杉多 弘至 (富田林支部支部長=昭31学商)
富田 和昭 (吹田支部前副支部長=昭35学経)
池田 利國 (大阪狭山支部元副支部長=昭29学商)
別處 了一 (茨木支部支部長=昭46学社)
山本 邦夫 (和泉支部支部長=昭43学商)
岸本 博明 (淀川支部幹事長=昭44学法)
花岡 宏 (西成支部幹事長=昭41学工)
平岡 昭雄 (此花支部支部長=昭40学法)
森下 憲夫 (自動車関大前會長=昭46学法)
児玉 稔 (関大法曹會元幹事長=昭35M法)
福田 邦夫 (社会保険労務士関大前副會長=昭32学法)
中井 邦夫 (スポーツマンクラブ會長=昭45学法)

測が困難な、大変厳しい状況であり、グローバル化や情報化の一層の進展といった、急激な変化は、わが国社会のあらゆる側面に影響を与えている。こうした変化に対し、産業界や地域社会は、予測困難な事態を自らの力で切り拓くことのできる人材を求めている。そのために必要な大学改革を強く要請しており、関西大学としても、その要望に力強く応えていきたい。また、私は、40万人を超える本学校友の皆様に對し、満足のいく生涯学習の場を提供していくことが、本学の新たな使命のひとつであり、更なる飛躍のヒントになると認識しています。校友

の皆様には、生涯学習の場としての活動にご理解とご協力をいただき、お知恵を拝借して、大きく育てていただければと期待しています」と今後の抱負を述べた。

続いて、楠見学長は、「10月より二期目の学長を務めさせていただいています。私は、昭和49年に関西大学工学部に入学以来、約40年間、学部、大学院、教員と、一貫して関大の道を歩いてきました。この間に出会い、卒業生たちと育てられ、守られ、ここまでやってきました。私は、関西大学で生まれた縁に感謝

し、関西大学の発展のために一生懸命働くことを、改めて強く決意しています」と述べ、今後の抱負を、「大阪にしっかりと根を下ろし、地域社会に貢献しつつ、グローバルな人類社会に貢献できる教育と研究を進める、そして、関西大学を、さらに高いステージで活動する大学にすべく、これから4年間、池内理事長とともに、しっかりと舵取りを行っていく所存です」と述べた。



昨年秋と今年春に叙勲・褒章を受章された校友・大学関係者が舞台上に上がり、代表して、元日本弁護士連合会副会長として旭日中綴章を受章の小寺一矢校友会副会長に寺内会長から記念品が贈られ、参加者も大きな拍手で祝意を表した。

恒例の感謝状贈呈に移り、平成15年1月から3年間校友会長として、20年10月から法人理事長として母校の発展に寄与・貢献された上原洋允前理事長を特別表彰。次いで組織顕彰を受け、30年以上にわたって總會を開催している備後支部、和泉支部、生野支部を組織特別顕彰した。続いて、10年継続して總會を開催している東住吉支部、関大チェリークラブ、鉄川謝交會、長砂ゼミ長友會を組織顕彰、幹部役員として12年以上にわたり組織の発展に尽力されている個人功勞表彰では、19人を代表して関大法曹會元幹事長の児玉憲夫氏に寺内会長から感謝状と記念品を贈った。

なお、今年は、平成24年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞された石川正司化学生命工学部教授と冬木正彦環境都市工学部教授の研究室に、校友会学生・学術・文化功勞賞規程に基づき、研究奨励金を贈呈。寺内会長から両教授に目録が手渡された。

金美齡氏の記念講演に熱心に聞き入る

第2部記念講演では、小寺一矢副会長の講師紹介のあと、評論家・学校法人J E T 日本語学校理事長の金美齡氏が「帰属意識を考える―愛校と愛国について―」と題して講演。

大きな拍手で迎えられた金美齡氏は、「1年以上前の約束を果たすために、私の母校早稲田での会合を蹴って、こちらに伺いました」と口を切り、東日本大震災に対する台湾からの義援金に感謝の意を携えて、昨年9月に校友会の56人が全員、金美齡氏製作の「ありがと台湾Tシャツ」を着て訪台した経緯を紹介し、謝意を表した。

また、関西大学との縁として、大学2年の時に北海道旅行で一緒になった関大生と、先程52年



ぶりの再会を果たしたこと、大切な出会いとして、何度も台湾各地を訪問して研究し、台湾のために尽くした元経済学部教授の石田浩先生（平成18年1月現地で死去）との交流を披露した。

その後、現在の日本では、自分が育まれ、所属する家族、故郷、学校、会社、国などに感謝することが忘れられている。国際社会で日本の地位が低下しているのは、そういう人間としての根本を教えないためであると指摘し、日本人としての自信と誇りを取り戻すためには、1度の敗戦で180度転換してしまった戦後の日本からの脱却が必要である。山中教授はノーベル賞受賞の記者会見で、「受賞は家族のサポート、仲間のサポートがあったから。メイドインジヤパンの薬を作って、世界の難病に苦しむ人を助けたい」と述べていた。こういう人が増えれば、国際社会で日本は存在感を示すことができる、と述べた。

また、私は、国を失った人間、パスポートなしで日本に滞在していた。個人にとって国を失うということが、どれだけ危ういものか身をもって体験している。皆さんも国が国民を護ってくれているということ、いつも考えていただきたい。そして、関大で学び育った皆さんが、関大を出て、この大阪に何が貢献で

きるか、日本という国に何が貢献できるか。一人一人がもし真剣に考えるならば、日本の再生は確かである。

大学は知的な教育をするところ。勉強するということは、古今東西の先人たちが汗を流し、血と涙を流してくれた人類の知的資産を学ぶことで、こんなに素晴らしい行為はない。それを教える先生には、全存在が関わっている。また、理事長、学長には、学生が本心に喜んで学ぶための環境づくりに不断の努力を求められている。大学4年間、人生で一番素晴らしい時間でもある（私は居心地がよくて10年いました）。学生さんには充実した学園生活を送っていたきたい、などと話された。

最後に、「私は、私を護ってくれた日本に心から感謝している。10年間お世話になった母校を愛しています。寺内会長さんは、わが母校を本当に愛し、母校のために何ができるかということに常に考えておられる。皆さんも同じ気持ちであろうと思います。1年以上に亘りお世話になった校友会の皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございます」と述べ、講演を結び、会場はいつまでも万雷の拍手に包まれた。

凧風館で懇親会開催、応援団の演舞など楽しむ

田中義昭副会長の閉会挨拶で第2部記念講演会は終了。第3部懇親会は、総合学生会館メディアパーク・凧風館2階のバイニングホールディノア（生協食堂）に会場を移して開催された。石井國男副会長の開宴の言葉、葛村和正教育後援会会長の乾杯の発声で懇親の輪が広がり、参加者は、応援団の演舞などを楽しみながら旧交を温めた。逍遙歌合唱のあと古川好男副会

校友総会トピックス！

改めて

社会への貢献思う

―叙勲者代表の

小寺一矢氏

この春、旭日中綬章を受章された小寺一矢氏が、叙勲・褒章者17人を代表して寺内校友会長から記念品を授与された。小寺氏は、大学院法学研究科を経て、昭和46年に弁護士登録。その後、大阪弁護士会会長や日本弁護士連合会副会長を歴任し、日本の法曹界に大きく貢献されたことが今回の受章となった。

受章について感想をお聞きした。受章当日は、最高裁長



長の開宴の挨拶で、校友総会の幕を閉じた。



官から勲記及び勲章の伝達・授与を受け、長官主催の昼食会に招かれた。その後、皇居・宮中春秋の間で天皇陛下から受勲者に、今までの苦勞を労うとともに「これから健康に氣をつけて人々の為、社会

の為、国の為に尽くしてくれよう」の旨のお言葉を賜った。列席者の目を見て一人一人にお声をかけながら小寺氏の近くまで来られ、最前列にいた氏は、陛下と目が合った瞬間、全身栗立ち自然に低頭していたという。

皇居の庭は、大都市の真ん中にありながら非常に静寂で簡素だった。豪華でも華美でもない宮殿は、外国の宮殿に見られる王朝の権力を誇示するような装飾はいっさいなかった。自らの為でなく、国民、国家のことをひたすら祈り続けておられる125代の永きに亘る日本の皇室の存在を改めて身をもって感得した。この受章を機に、改めて人々の為、社会の為、国の為に尽力したいと思った、とのことである。（広報部 馬淵純二）

会員の親睦と

社会貢献も

―個人功勞表彰の

森下 功氏

個人功勞表彰を受けられた自動車関大会前会長の森下功さん。50年に及ぶ諸先輩や会員の皆さんの努力のお陰と感謝していた。

自動車関大会は、系列を離れ自動車業界に在籍する校友



また、自動車産業は、自動車作りから販売・整備まで裾野の広い産業で、日本経済の一翼を担っており、関大生の更なる業界への参加を期待している。
(広報部 岡田美由記)

ともに母校の発展に尽力

個人功労表彰の

中井邦夫氏

をもって組織されている。会員相互の親睦と母校関西大学の隆盛及び業界の発展に寄与する目的をもって設立され、まもなく半世紀になる歴史ある職域会である。

毎年7月に総会が開催され、社会貢献の一環として、各社より持ち寄った品物を中心にチャリティオークションを行い、売上金の大半を大阪交通安全遺族会に寄付しているが、これも30数年になる。現役自動車部への援助も長い。

会員には、自動車業界に携わる者として、交通ルールを守り、事故を起こさないよう常に訴えてきた。

課題の一つは会員数の減少。業種・業態の多用化により、関大生の新入社員の減少と、モータリゼーション発展期に入社した会員が定年を迎えたことによるもので、減少に歯止めをかけるべく外車販売、自動車整備等に携わる校友にも参加をお願いしている。



個人功労表彰受賞の中井邦夫氏は、昭和45年法学部(二部)をご卒業。現役時代は、学業とともに空手道部で活躍し、副主将を務められた。まさに文武両道の青春を謳歌され、その武勇伝も数多いと聞く。卒業後は後輩の指導に尽力され、また創設当時「体育天六会」であった二部体育会OBで構成する「関西大学スポーツマンクラブ」の役員としても会の発展に大いに寄与された。平成16年会長に就任されたが、大学の二部制度廃止に伴い、平成20年3月には

二部体育会がなくなる事態になり、会の存続に大きな局面をむかえることとなった。しかしながら、中井会長は現役支援を主な目的とした会則を見直し、各部OB会相互の発展はむろん、校友会活動を通じて母校の発展に寄与することを大きな目的に変更された。そのため会員資格は二部体育会卒業生に限定せず、その趣旨に賛同する人であれば会長の承認で会員資格を得ることができるとした思い切った改革を決断された。

校友会参加者に聞く

私にとって「関大」とは

祖父江洋二郎 昭53学卒



関大は自分の人生になくはならないもの。良き友、良き先輩を得て、様々な得がたい体験をさせていたと思っています。

沖中龍三 昭62学卒



関大はかけがえのない友と過ごした想いの出の学び舎。校友会活動を通じて今も絆を強め、日々学ばせていただいています。

また、友好団体とは今まで以上に積極的に交流を図り、特に同じ天六学舎で学んだ「長柄会」「天六同友会」とは関西大学二部の精神を共有する盟友であり、今後も親交を深め、関西大学の発展に少しでも貢献できればとの思いで、今後も会の運営、発展に努力を惜しまないという。

(広報部 馬淵純二)

岩崎圭祐 平6学卒



私にとって仲間が集まる所、それが関大です。学生時代出席しなかった分、今、出席させていたでいます。(笑)

森本靖一郎 昭30学文・32学卒



関大は私の命であり、人生のすべてです。強い関西大学、より強い関西大学を、今後も目指してほしい！

葛村和正 昭51工



40万人の校友が全国にいて心強い。自分の子どもが入学して初めて、親として関大の大きさを知った。楠見学長と同窓。

池内 清 昭49工



関西大学は私にとって、公私にわたり人生のパートナーです！

岡田由美 平2学商



学生時代より今の方が関大を身近に感じます。女子秀麗会の活動を通じて卒業後も関大に関わることを幸せに思っています。

山本淑子 昭53学文



学生時代より卒業して何年もたった今の方が愛校心が強いです。校友会活動は刺激と創造の場を提供してくれます。

合田允子 昭32学経



演劇部で青春したところ。1〜4年までの間、女性は

2人で寂しかったです。

●吉岡正代 (昭43学文・47M文)



人生の大半を過ごしたところ。クラシックギター部は平成24年で50周年ですが、そこで最初の女子卒業生です。

●光眞坊泰 (昭38学経)



心のよりどころ。この写真を見て、当時の友が連絡くれるかなあ。関大出身と聞くだけで親しみが湧きます。

●女川 隆 (昭38学文)



命、私の象徴。こよなく愛しています。大好き。今は関大以外考えられません。体育会も大好きです(射撃部監督)。

●岸本博明 (昭44学文)



つかえ棒。心はカイザー関大。何かイベントがあれば応援歌を歌っています。

●木本八三郎 (昭35学文)



学生時代の凝縮が今です。

●清原 博 (昭36学商)



愛すべき母校。この9月から明石関大クラブ会長に就任しました。

●三木典昭 (昭26学文)



心のよりどころ。母校愛のかたまりです。関大に來るとホッとします。学生時代と比べその発展ぶりに驚くばかり。フレイ、フレイ関大。今後の益々の発展を祈るばかりです。

(広報部 岡田美由記・山本淑子)

代議員選考委員35氏に委嘱

10月21日開催の平成24年度校友総会で、「会長一任」となった代議員選考委員会の委員について、寺内俊太郎会長は副会長らと協議の上、前例等も考慮して人選を進め、次の35人に委嘱した(50音順、敬称略)。

選出区分は、本部役員6人、地域支部16人、職域会6人、関係校友会・各種団体5人、学

内2人となった。

▽阿部進(45学文) 校方支部支部長▽石井國男(45学経) 校友会副会長▽伊藤晃亮(41学文) 大阪中央支部支部長▽岩崎英夫(36学商) 東大阪支部支部長▽植田芳光(48学工) 校友会財務部長▽上村学(44学法) 豊中支部支部長▽岡田美由記(52学商) 東淀川支部副支部長▽加藤拓(40学工) 伊丹支部支部長▽川北文雄(40学法) 香川支部支部長▽北川俊治(45学法) 体育OB・OG会副会長▽北嶋弘一(44M工) 博修士会会長▽小坂圭一(55学工) 一高同窓会会長▽小松陽一郎(51M法) 関大法曹会幹事長▽上符文雄(44学商) 北支部会計▽壽見芳正(平4学工) 京都支部事務局長▽田中正喜(51学工) 尼崎支部幹事長▽田中義昭(43学文) 校友会副会長▽田中義信(50学法) 平野支部支部長

▽谷真明(53学法) 大阪府庁秀麗会会長▽谷康司(52学法) 物流関大会副会長▽谷口欣久(61学工) 神戸支部幹事長▽綱木寛(58学文) 学生センター次長▽燈田進(48学法) 会計人会会長▽中井邦夫(45学法) スポーツマンクラブ会長▽中村博(56学経) 司法書士関大会会長▽仁井ひろみ(48学法) 女子秀麗会会長▽古川好男(32学法) 校友会副会長▽古淵孝仁(55学法) 堺支部副支部長▽別處了一(46学社) 茨木支部支部長▽三木允子(42学文) 校友会広報部長▽村上栄一(52学法) みおつくし章の葉会会長▽森茂実(56学社) 学生サービス事務局長▽森田敏三(32学経) 愛知支部支部長▽山本淑子(53学文) 芦屋支部副支部長▽渡邊泰之(42学法) 校友会組織部長。

第1回代議員選考委員会開く

委員長に田中氏、副委員長に古川・石井両氏
精力的に選考を進め、12月中旬に候補者を答申

寺内会長から委嘱を受けた代議員選考委員35人は、11月1日に校友・父母会館2階の校友会会議室で第1回委員会を開催した。

まず、寺内会長が、挨拶。寺

内会長は「代議員会は、校友会の最高議決機関です。この選考委員会は、30万余人の校友会員の中から、校友会の運営に関する基本事項を審議していただく適任者を選ぶことが使命であり、

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型著預(上用)謹製

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会会長賞



校友会の過去・現在を正しく捉え、将来をも展望し、広い視野で検討していただきたい。

選ばれるべき代議員については、校友会活動への関心度、理解度や組織活動への協力の意志があり、代議員会、校友総会への出席が可能であることも必要です。また、母校の発展に貢献したいという強い熱意と、創立130周年記念事業募金にも積極的に応じるなど熱い母校愛の持ち主であることも望まれます」と、選考に当たったの会長所見を述べた。

その後、委員長に田中義昭副会長、副委員長に古川好男副会長、石井國男副会長をそれぞれ選出、早速、協議に入った。

まず、今後の運営について協議し、約1カ月半という短期間での選考となるため、全体委員会への提出資料の調整を目的に小委員会の設置を決定。正副委員長を含め12人で構成することとし、地域支部から、谷口欣久神戸支部幹事長、山本淑子芦屋支部副支部長、上符文雄北支部会計、田中義信平野支部支部長、職域会から中村博司法書士関大会会長、谷康司物流関大会副会長、関係校友会から小坂圭一・高同窓会会長、各種団体から仁井ひろみ女子秀麗会会長、大学関係から森茂美学生サービス事務局長を選出し

た。

具体的選考については、「会長が示された代議員選考委員会に対する会長挨拶の主旨を体し、また過去の事例も参考に選考に当たる」との基本方針のもと、①代議員は校友会費（基本会費、更新期間の到来者は更新会費、納入者とし、組織代表者など該当者であっても最終選考委員会までに会費納入の確認ができない場合は候補者ではない。②前期代議員は優先選考対象者とし、選考に当たっては任期中における出席状況、組織母体での活躍状況等を勘案する。③広く新人候補者を選考対象に置くが、選考に当たっては組織母体からの推薦候補者のほか、各種資料を収集し、つとめて有為な人材の発掘につとめるなど9項目の選考基準を決定した。

当日決定した選考日程では、今後2回の全体委員会、5回の小委員会で精力的に選考作業を進め、12月13日には正副委員長から寺内会長に答申することになっている。

なお、新代議員による臨時代議員会は、25年1月26日（土）午後1時半から千里山キャンパス・100周年記念会館で開催の予定で、代議員会正副議長、校友会長などが選出される。

若手校友落語家応援「関大寄席」

4人の熱演に場内は笑いはじける

昨年、校友会の新規事業として開催し、好評を博した若手校友落語家による「関大寄席」。今年も「関大寄席2012」として、10月28日に天満天神繁昌亭で開催され、満員の盛況だった。

この事業は、校友会の天神祭船渡御奉拝船「関大丸」の就航や、大学と天神橋筋商店街との社会連携活動等を通じて、何かと縁の深い天満宮内にある天満天神繁昌亭を借りて、将来有望な若手校友落語家を応援しよう」と企画したもの。

に満席となり、多くの希望者に断わざるを得ない状況で、生憎の雨の中を、指定席券を持った校友や家族などが開演の1時間ほど前から繁昌亭に集まり、10月1日に就任した池内啓三理事長も早くから顔を見せた。

午前10時、林家染太さんの司会で開会。定式幕の前で寺内俊太郎校友会長が、開催の趣旨や来場者へのお礼の挨拶の後、開演した。

出演者と演題は、出演順に、桂雀太（米朝事務所、平5学社）「子ほめ」、林家染太（よしもとクリエイティブ・エージェンシー、平12学文）「手水回し」、桂三金（よしもとクリエイティブ・エージェンシー、平8学社）「デブのお肉に恋してる」、桂三歩（よしもとクリエイティブ・エージェンシー、昭52社入学）「生まれ変わり（桂三枝作）」、三味線は、豊田公美子（平8学社）と、もちろんオール関大キヤスト。

「今日の出演者は全て関大。さらに顔は見せられませんが、三味線も関大。さらに、見渡せばお客さんも



みーんな関大」など、出演者はそれぞれマクラの部分で、学生時代の思い出や、最近の話題などを面白おかしく語り、来場者の心をくすぐって本題に巧みに引き込んでいた。また、トリを務めた桂三歩の出囃子三味線を関大道遥歌にアレンジするなど、関大寄席ならではの演出もあり、客席を楽しませた。

終演後は、出演者が出口で「ありがとうございました。おおきに」と見送り、来場者は、満たされた笑顔で繁昌亭を後にした。



「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロテューサーの企業訪問 ―ものづくりの現場のいま―

8

目に見えないもので 目に見える成果を

バイオニクス株式会社

バイオニクス(株)は、生体認証(バイオメトリクス)技術による血流認証システムおよび血流認証技術を開発し、製造、販売する2001年創業のベンチャー企業です。血流認証システムは、入退室セキュリティやタイムレコーダなど個人認証が必要とされるツールとして広く活用できます。

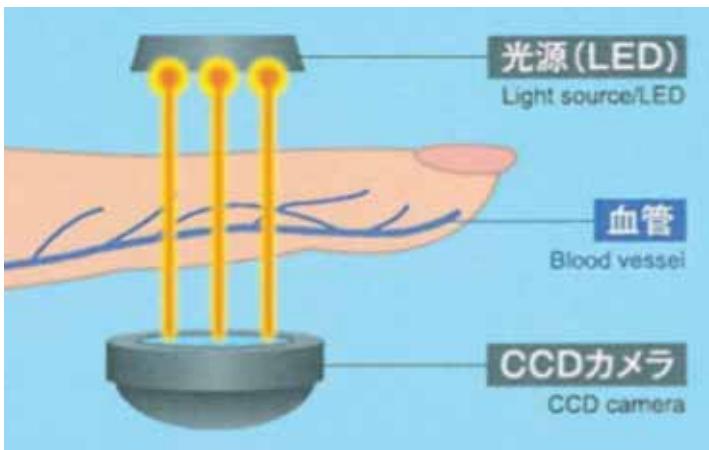
セキュリティを確実にすることは、いま大きな課題になっています。身体的な特徴をもとに本人であることを認証するのが生体認証方式です。生体認証には、血流(静脈)認証、指紋認証、顔認証、虹彩認証、網膜認証など様々な方式があり、各々長所短所があります。キーや暗証番号など紛失や忘れる可能性があるものに比べて生体認証は様々なリスクを減らすことができます。

指静脈の血流パターンは、他の誰とも、一人として同じものは無い独自のパターンとなります。血流認証は、指に特殊な波長の赤外線(近赤外線)を当てると、血液中のヘモグロビンだけが吸収され

るので血管画像だけが浮き上がります。血流認証は、血管の形だけでなく血液の流れをあらかじめ登録されている本人の血流パターンと照合して本人であるかどうかを認証します。

血流認証が優れているのは、指紋のように平面でなく、立体構造で認識することです。また血流は生きたものにしか流れず、血流認証は、生きた個体であることが必要とされるのでより確実性が高くなります。さらに接触面積が少ないこと、抵抗感も少ないことで心理的な負担が低いことです。

バイオニクスが開発した血流認証システムは、センサー部光学系、画像処理系および認証処理系の3つで構成しています。センサー部光学系は、静脈内のヘモグロビンを吸収する特殊な波長の光線を発するLEDを用い、



透過する血管パターンを赤外線CCDカメラで撮像します。画像処理系は、撮像した指画像から、コンピュータを用い、血流パターンを抽出します。認証処理系は、画像処理を行った結果と、あらかじめ

め登録してある本人の血流パターンをコンピュータにより比較を行います。血流認証システムは、他の生体認証、たとえば指紋や網膜などに比べ、認証精度が高い、欺瞞、偽造が不可能、心理的負担が低い、装置コストが安価などの特徴を持っています。

バイオニクスは、2004年、血流認証システムの開発で次代を担うバイオベンチャー企業を表彰する日刊工業新聞社主催「第3回日本バイオベンチャー大賞」経済産業大臣賞を受賞しました。

バイオニクスは、血流認証市場の草分けメーカーであり、圧倒的なシェアを占めているマシソン市場など実際の使用現場における数多くのノウハウを持っています。さらには緊急時にも素早い対応を行うサポート力など高い評価を得ています。

ています。血流認証システムは、米国で権威のある認証機関の安全評価試験に合格し、米国の軍研究施設や大手銀行などへの納入実績があり、世界展開も進めています。

血流認証システムの将来的な応用可能な分野として、ホテル、ビジネスホテル、ウィークリーマンションなどのキーレス化、大学、専門学校などの教室入室や履修管理、企業の勤怠管理の集中化、工場や医療現場での専門的機器の動作管理、レンタル倉庫、レンタルスペース、ロッカーなどのキーレス化、会員制スポーツクラブやカルチャーセンターなどの入室管理、月極貸貸駐車のロック解除管理、二輪、四輪、車両などのエンジンキー代替などを考えています。

バイオニクス製血流認証システム、高度化するネットワーク社会に対応し得るカスタマイゼーション機能をもったセキュリティシステムの優位性を多くの人に知ってもらい普及を図っています。今後、バイオニクスは、高度で人に優しい生体認証技術を活用し、より安全で快適な社会作りを提案、実現して行きたいと考えています。

所在地: 〒541-0053 大阪市中央区本町1-2-1
本町1-2-1ビル2F
代表者: 代表取締役社長 須下 幸三
TEL: 06-6267-2527
FAX: 06-6267-2921
<http://www.bionics-k.jp>

「連携プロテューサーの企業訪問 ―ものづくりの現場のいま―」のバックナンバーは、いつでも活用できるよう、関西大学校友会ホームページ「社会との交流と連携」に掲載しています。新たな発想が広がることを期待いたします。

お客様の必要な「何か」を創る

株式会社柏木モールド

(株) 柏木モールドは、パッケージに関するトータルコンサルティングメーカーとして薄物シートの可能性を追求しています。汎用性の高い包装材から医療、医薬品、化粧品、精密機器に至る幅広い分野の多種多様なパッケージを製造しています。パッケージは、合成樹脂のシートをはじめ、不織布や合成皮革、軟質ウレタンエラストマーなどを材料に基盤技術である真空・真空圧空成形技術および金型設計技術を基に、ものづくりに取り組み、これまでにない成形品を生みだし、製品化しています。

シート成形は、金型にシートを押し当て、シートを伸ばして成形品を作ります。シートを伸ばすときにうまく空気を逃がさないと「エアだまり」という空気の逃げ道がそのままの形で成形されます。さらに、成形時、収縮の間に合わなくなつた材料がくっついてしまいシワになる「ブリッジ」は、成形品の肉厚の均一化を図ることも難しくなります。このように成形品の精度はすべて金型の精度が支配的になっています。柏木モールドは、パッケージ全体の機能性を損なうことがないように成形品の製造だけでなく金型の設計、製造も行っています。

製品として、医療・メディカル、化粧品・医薬部外品、食品・飲料、自動車・工業部品、精密・電子部品、バッグ・キャリジケース、DIY・ホームケア、ヘルスケア・安全管理、農業・水耕（アグリカルチャー）などの分野に汎用材料のみならず多くの特殊材料、たとえば、帯電防止材料、導電性材料など扱ったパッケージを提供しています。さらに、パッケージを通じて作業の合理化、減容化などトータルのコストダウンの提案も行っています。

医療・メディカル製品の分野などに求められる非常にクリーンな製品が製造できるように、純水による超音波洗浄設備を設置し、トレイや容器などに付着した異物を取り除いています。また、工場全体がクリーンなものづくりの環境を実現し、ミクロン単位のダストを除去するド

ライ洗浄を実施しています。

成形加工は、射出成形などいろいろな方法がありますが、柏木モールドが得意とするシート成形は、雄型または雌型のどちらかの金型を作ることで真空成形ができるため、量産性が高くかつ生産のランニングコストを低減することができ

ます。成形の自由度は、射出成形と異なり限界がありますが、材料が薄くても成形できることや小ロットの生産にもむいていることなど利点が多くあります。

製品の品質管理については、厳格、耐荷重、肉厚管理、反り限界などに関して長年の経験と知識の積み重ねに基づく自主基準におけるグレードを決定しています。たとえば、ミクロン単位のダスト対策の必要な取り扱いレベル、医療・メディカル製品のように厳重なクリーン度の管理を要するレベル、化粧品などの外観の意匠性を要求するレベルなど、各業界、各品目によって細かくレベル別けています。

柏木モールドは、パッケージに関して企画から製造、納品までトータルに提案を行っています。また、柏木モールドが自主開発したオリジナル製品の製造、販売も進めています。

一方、持続可能な社会の実現を目指したエコロジーへの取り組みにおいても、成形メーカーとして



シートを採用しています。さらに、リユースとしては、一旦納品、使用された製品に付着するコンタミレベルの異物を取り除くため超音波洗浄を実施して再納品しています。リデュースとしては、成形シートの薄肉化をしても形状保持できる、あるいは製品を安全に搬送できるなど、薄肉化しても強度保持が出来るように設計しています。

柏木モールドは、パッケージだけを製造するものづくり企業ではないと自負しています。商品がより販売促進につながるようデザインから対応しています。これから柏木モールドは、クリーンな状態を必要とする製品、安全な状態を必要とする製品、小ロットやコスト拘束の強い汎用的な製品など、お客様の必要な「何か」を創造し、これまでにないパッケージを提案し続けるものづくり企業を目指します。

所在地：〒639-0253
代表者：代表取締役社長 柏木 大資
TEL：075-79-5221
FAX：075-79-5223
<http://www.ksmold.co.jp>

次号は、株式会社栗原製作所（奈良県大和郡山市）および株式会社マツバヤシ（滋賀県彦根市）の予定です。

（校友会連携プロデューサー 田中久仁雄）

【訂正】
第五七一号掲載の「大洋ナット工業株式会社」の所在地が営業所在地となっていました。左記の通り訂正し、お詫びします。

本社所在地：〒636-0103

奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-6-12

営業所在地：〒639-1042

奈良県大和郡山市小泉町2515-1

春学期卒業式と秋学期入学式を挙る

200余人が巣立ち 22人が入学

9月18日、千里山キャンパス・100周年記念会館で、平成24年度春学期卒業式および大学院学位記授与式が挙行された。

学部卒業生157人、大学院博士課程前期課程修了生20人、専門職学位課程修了生16人、博士課程後期課程修了生12人、論文博士2人に対し、楠見晴重学長から学位記が授与された。

また、秋学期入学式も挙行し、総合情報学部3人、文学研究科10人、東アジア文化研究科



6人、外国語教育研究科2人、理工学研究科1人が新たな学びをスタートさせた。

留学生別科秋学期入学式 7つの国・地域から49人

南千里国際プラザで9月21日、関西大学留学生別科の平成24年度秋学期入学式が行われた。

中国、台湾、アメリカ、ベトナムなど7つの国と地域から49人が入学し、新たな学びをスタートさせた。留学生別科では、既に春学期入学生33人が学んでいる。



文部科学省「留学生交流拠点整備事業」に採択

文部科学省「留学生交流拠点整備事業」に、全国の国公私立大学等から7件が選ばれたが、その一つに関西大学が申請した「地域・企業・大学が連携した『留学生の第二の故郷』実現への実践的調査研究：Harmonic Osaka・Multicultural Environments (HOME) トンナーシムによる『先進のニュータウン』、これからの50年」が採択された。事業期間は平成24年9月1日～27年3月31日。

この事業は、千里ニュータウン地域（豊中市・吹田市）が誕生50周年を契機に展開する地域活性化事業（千里ニュータウンまちびらき50年事業）と歩調を合わせ、地域にゆかりが深く、また学術包括協定を結んでいる関西大学と大阪大学の2大学が主体となり、その連携に地域産業・自治体に参加、内実ある大学・地域・企業の連携によるコンソーシアムの結成と、活動を支える交流拠点の整備を行う。この拠点を通して、留学生及び日本人学生らが協働して地域密着型の国際交流活動を推進し、また留学生の生活支援（宿舎支援・就職支援）を行うことで、千里エリアが、両大学が受け入れ、教育し優秀なグローバル人

材として輩出した外国人留学生らの「第二の故郷（ふるさと）」となり、その結果街全体を活性化させることを目指すというものの。

大学発新産業創出拠点プロジェクトにも採択

文部科学省は、平成24年度から「大学発新産業創出拠点プロジェクト（略称START）」事業を開始した。

この事業は、大学発ベンチャーの起業前段階から政府資金と民間の事業化ノウハウ等を組み合わせることで、リスクは高いがポテンシャルの高いシーズに關して、事業プロモーター（ベンチャーキャピタル等）と連携し、事業戦略・知財戦略を構築し、市場や出口を見据えて事業化を目指すもので、このほど、全国の国公私立大学等から168件の申請があり、27件が選ばれた。

その一つに関西大学が事業プロモーターと連携して申請していた「半導体リソグラフィ用光源事業」が採択された。

研究代表者は、システム理工学部の大西正視教授で、連携する事業プロモーターはウエルイ

ンベストメント（株）プロジェクトの概要は、「次世代半導体の製造には、リソグラフィプロセスにおいて極端紫外光（EUV）が不可欠である。本プロジェクトでは、マイクロ波放電生成プラズマによるEUV光源を開発し、半導体製造プロセスで活用されるように事業化を行い、世界最先端の光源技術をもつベンチャー企業の創出を目指す」というもの。

大阪市新区公会計研究会（仮称）が発足

関西大学と大阪府北区は、昨年2月24日に連携協力に関する協定を締結、活力ある地域づくりと大学の教育および学術研究機能を高める事業を推進している。

その一環として、このたび、大阪市24区の新たな区割案の策定などに関し、財政面から考察するため、「大阪市新区公会計研究会（仮称）」を立ち上げた。大阪市の全体財政の中で北区の財政的位置づけを明らかにし、新たな区割り案の判断材料とするなどの共同研究を行う。

研究会の代表には柴健次會計研究科教授が就任し、清水涼子會計研究科教授と宗岡徹會計研究科教授がメンバーとして就任した。

関大防災Day2012 全キャンパスで同時実施

10月26日、千里山・高槻・高槻ミューズ・堺の関西大学の全キャンパスで、学生・教職員・近隣住民が参加する地震避難訓練「関大防災Day2012」が実施された。

訓練では、11時40分にマグニチュード7・6の上町断層帯直下型地震が発生したと想定し、地震対策本部の設置、避難誘導、避難者の安否確認に至る一連の流れを確認した。

今年で4回目となり、避難訓練では、授業中の学生たちは教員の指示で、キャンパス内に設けられた避難場所にぞくぞくと避難。係員から学番号、氏名、けがの有無、今後の移動先などを記入する「安全確認シート」を受け取り、友達と相談しながら各項目を記入していた。



また、避難訓練のほか、東日本大震災特別講演会や近隣自治会による炊き出しコンテスト、防災啓発ブース、消火栓・消火器体験など、防災に関わるさまざまなイベントも合わせて行われ、今年は地域住民への積極的な参加呼びかけもあり、多くの人が参加した。

KUBIC2012

本選会で優勝者決まる

10月6日、今年で7回目となる関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC2012の本選会が千里山キャンパスで開催され、入賞者が決まった。

合計845件の応募の中から、本選会出場を果たした計10組（高校の部5組、大学の部5組）の発表者による熱のこもったプレゼンテーションが行われ、



高校の部では岐阜県立大垣高等学校2年松原圭祐さんによる「自転車修理の駆け込み寺コンビニ」（最も身近な自転車屋さん）コンビ二との連携による自転車修理・レンタルシステム導入に關して、大学の部では中京大学総合政策学部 ケッタマシーン 植原成美さん他計4人による「出前館ギフトサービス シニアを狙え！」が優勝した。

桂文枝師匠の講演など 堺で関大笑い講を開催

堺市教育文化センターソフィア・堺で10月13日、堺市との地域連携事業として、「第7回関大笑い講」が開催された。

当日は、森下伸也人間健康学部教授による基調講演「笑い講とは何か?」、落語家で人間健康学部客員教授の桂文枝氏による講演「笑いはこころのビタミン剤」が行われ、会場を訪れた約650人の聴講者は熱心に聞き入っていた。



また、六代桂文枝一門による落語寄席やプレジャーBによるクラウンサーカスのパフォーマ

校友の根岸氏が直心影流兵法目録 など幕末期史料10点を寄贈

校友の根岸隆氏（昭27学文）から、この度、関西大学博物館に根岸家伝来の直心影流兵法目録と添状、長州並備中乱妨害取書、慶應二年諸書留、家例年中行事など幕末期秋田藩士の貴重な史料10点の寄贈があった。

直心影流兵法目録と添状は、明治3年、根岸隆氏のご祖父秀正氏に、印

可されたものである。直心影流は、柳生新陰流の流れをくむ流派で、秀正



氏は稀代の達人であったという。長州並備中乱妨害取書は、幕府による慶応年間長州征伐の貴重な記録である。また、諸書留および家例年中行事などは、武家の日常記録として興味深い。いずれも一級の幕末期の史料であり、根岸家を中心とした秋田藩武家文化を研究する上で貴重

ンスも行われ、会場は終始笑いの渦に包まれていた。

SF入試（9月募集） 129人が合格

2013年度SF入試（9月募集）の合格者が9月27日に発表され、体育29種目に129人が合格した。

昨年に比べ種目で6、人数で10人多くなっているが、10人以上の種目はサッカー、テニス、陸上競技の3種目。

なお、SF入試は若干名の1月募集もある。

重である。寄贈の史料は、博物館で保存し、教育研究に供し

たいと考えている。

(博物館事務室)

GP中国杯で町田が初優勝、高橋は2位 スケート・カナダでは織田が3位に入賞

11月2～4日にフィギュアスケートのグランプリ(GP)シリーズ第3戦中国杯が、上海で行われ、アイススケート部の町田樹(文4)がGPシリーズで初優勝を果たした。高橋大輔(M文2)が2位に入り、関大コンビでワン・ツィフィニッシュを飾った。

今季GP初戦の高橋は、ショートプログラム(SP)で、回転不足となった最初の4回転以外のジャンプを全て成功させるなど、安定した演技で84・79点を上げ、トップに立ったが、フリーでは4回転ジャンプで両足

を着く失敗などがひびき146・96点となり、合計231・75点で、先に滑った町田の得点を抜かず2位となった。

10月19～21日にアメリカワシントン州セントで開催されたGPシリーズ・スケートアメリカで3位に入り、初の表彰台にあった町田は、SPで3回転ジャンプを全て着氷。ミスなく滑る83・48点をあげ2位。フリーでも安定した演技を披露して153・44点をあげ合計236・92点で見事、初優勝を飾った。



また、10月26～28日にカナダ・オンタリオ州ウィンザーで行われたGPシリーズ第2戦スケート・カナダでは、怪我からの復帰第1戦の織田信成(M文2)がSP・フリーとも3位で合計238・34点をあげ総合3位に入賞した。

体育会拳法部の 鈴木侑帆が

日本拳法女子 個人選手権で優勝

個人選手権で優勝

9月16日に大阪市中央体育館で行われた2012全・日本拳法総合選手権大会(第25回全・日本拳法女子個人選手権大会)で、拳法部の鈴木侑帆(ゆきほ、商4)が優勝を飾った。

鈴木は、大学2年・3年の春季大阪府民大会(個人)で連続優勝、3年では西日本学生拳法個人選手権大会で準優勝などの成績を残している。



重量拳部の尾崎が 都道府県対抗で優勝

9月29～30日に金沢市いしかわ総合スポーツセンターで行われた第2回全国都道府県対抗女子ウエイトリフティング選手権大会で、重量拳部の尾崎都加(みやか、文3)が69kg級で優



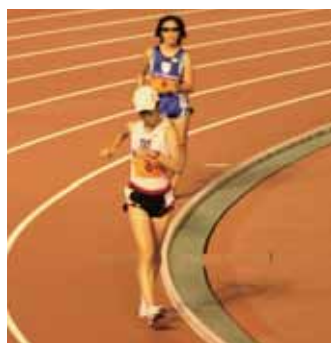
勝した。

同大会では、75kg級で西尾里菜子(人1)が2位、柏木悠里(人2)が3位になり、53kg級の井上聡美(人2)と63kg級の今永桃子(人1)がそれぞれ4位に入賞した。

学生女子1万m競歩で 陸上競技部の山岸3位

9月9～12日に東京・国立競技場で行われた天皇賜盃第81回日本学生陸上競技対校選手権大会女子1万m競歩競技で、陸上競技部の山岸さくら(文3)が3位に入賞した。

昨年の大会で4位の山岸は、中盤からペースを上げ、集団後



方から徐々に抜け出し、単独3位になるとそのままゴールした。

弓道部の女子が3位 28m近的競技団体で

8月14～16日に愛知県名古屋ガイシホールで行われた第60回全日本学生弓道選手権大会の女子28m近的競技団体で弓道部が3位に入賞した。



全日本軟式野球選手権 関大同好会が4位入賞

8月8～12日に行われた全日本大学軟式野球選手権大会(約250大学が参加)で、軟式野球同好会が総合成績第4位の好成績を残した。個人では堀川祐也(社3)が敢闘賞を受賞した。

また、軟式野球同好会は、関西六大学秋季リーグ戦で8勝1敗1分の好成績を残し、春季リーグに続いての関西制覇達成。11月17日から滋賀県で開催され

る西日本大会への出場権を獲得した。

射撃部女子、秋関優勝も 念願の5冠達成はならず

今年も全日程が終了した。春から秋関西まで順調にきていたが、最後の全日本学生選手権大会で女子5位、男子6位と結果を出すことができなかった。

4回生は既に引退し、新体制で来年に向けスタートをしている。関大射撃部は、常に「強い関大」「勝つ関大」の継続を標榜し、頑張っているが、今大会では残念な結果に終わった。監督として申し訳なく、改めて、打倒関東を果たすためには、今年以上の練習が必要だと痛感している。部員一人ひとりも反省、検証して来年に繋げたいと思う。1年間のご声援、ご支援に感謝します。(監督 女川隆)

なお、9月13・15日に能勢ライフル射撃場で行われた秋季全関西学生選手権大会では、女子団体は優勝、男子団体は準優勝の成績を残している。

ソフトテニス女子部が 関西1部で初優勝飾る

今季4月、ソフトテニス部女子が、女子部創設以来49年ぶりに関西1部リーグ戦で初優勝の



偉業を達成し、関西の頂点に立った。

そして、東京体育館で開催された全日本王座決定戦に初出場し、第3位という好成績を残した。西日本大学対抗戦では2度目の優勝。

個人戦でも、関西学生選手権大会で佐々木・多賀組が初優勝、寺山・田中組が3位。西日本学生選手権大会でも村上・佐藤組が決勝に進み、ファイナルゲームの大接戦の末、惜しくも準優勝となった。

このような好成績を残せたのは、寺山主将を軸にまとまった部員たちの相互の信頼感が強いチーム力の成果だった。この体験を生かし、来シーズンは関西リーグと西日本連覇、全日本優勝を目標として練習に励むことを確信する。(監督 橋本雅史)

なぎなた部全日本大会で 演技の部・団体の部3位

第51回全日本学生なぎなた選手権大会が、8月5日に香川県の丸亀市民体育館で行われ、なぎなた部は、演技の部、団体の部でそれぞれ3位に入賞した。

演技の部では、岩本季和(商4)・石原舞子(政策2)ペアが、3位決定戦で大阪体育大学ペアを旗本数5-0で倒した。また、団体の部では、3位決定戦で福岡大学を接戦の末、大将の野口子重(文4)のスネ2本先取が決めてとなり退けた。両部での3位入賞は、昨年に続いての成績である。(監督 田中博志)



バドミントンの三納が 世界学生選手権に出場

バドミントン部の三納英利佳(人3)が、11月6・11日に韓

国の光州市で開催される第12回世界学生バドミントン選手権大会へ出場することが決定した。この大会への参加は、バドミントン部としてはじめてのこと。また、同部の植野恵美子コーチも日本選手団のコーチに選出された。

サッカー部の2人が ガンバとジュビロに

サッカー部のMF、岡崎建哉(政策4)がガンバ大阪に、同じくMFの田中裕人(政策4)がジュビロ磐田に、それぞれ入団が内定した。2人はガンバ大阪Yの出身。

日本ど真ん中祭りで 漢舞が奨励賞を受賞

8月24・26日に名古屋市中で開催された「日本ど真ん中祭り」で、同好会「関西大学学生チーム、漢舞」が奨励賞を受賞した。

関大北陽高・陸上部が 4年連続で都大路出場

男子第63回・女子第24回全国高等学校駅伝競走大会大阪府予選会が、11月3日、淀川右岸河川敷コース(42・195km)で行われ、北陽高校陸上競



技部(男子)が7区間中5区間で区間賞を獲得し、2時間10分25秒で4連覇を果たした。この結果、12月23日(日)に京都市西京極陸上競技場付設マラソンコースで行われる男子第63回全国高等学校駅伝競走大会への出場が決定した。



窓を考える会社

YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 www.ykkap.co.jp

好友抄



藤木 吾朗生氏

喜劇王・父 花菱アチャコが

被せてくれた五つの帽子！



藤木吾朗生氏（宝塚支部）

藤木吾朗生（五郎）氏宝塚市在住91歳。1921年（大正10年）3月大阪市北区梅ヶ枝町（現西天満6丁目付近）にて、父徳郎（花菱アチャコの長男として出生。

昭和13年関西大学専門部第1部法律学科入学・同16年卒業（私立京阪商業学校出身・現府立芦屋高等学校）。

当時は、専門部の第1部（昼間）、第2部（夜間）はともに天六学舎にあった。また、関西甲種商業学校（注1）も夜間校として昭和28年まで天六学舎の地階に学んでいた。

校友名簿によると、昭和16年度専門部第1部は、3学科・3年制である。法律学科25名、経済学科41名、商業学

科154名となっている（16年3月卒業）。因みに専門部第2部は5学科でもって、法律学科は285名、経済学科83名、商業学科149名、文学科国語漢文専攻科32名、文学科英語専攻科は18名であった。

藤木氏は関西大学への受験理由を、父親「アチャコさん」の推薦であると仰る。京阪商業進学も父の薦めであった。この頃の藤木家は、阿倍野筋5丁目付近に住まれ、省線（注2）で天六まで通われた。専門部の友人には、法科は楠武城氏、森田利夫氏、大谷隆広氏などが記憶され、商科では応援団の仲間だった清水磊三氏、中尾重治氏で、砂堀正氏は16年度団長を務めていた。ご自身も応援団員であるが詳しくは後述する。

印象深い先生としては、岩崎卯一先生、神戸正雄先生、森川太郎先生の方々に、のち

の学長経験者である。また、立命館の末川博先生や、関西学院の片山哲先生は出向で講師として来られていた。

和田豊二先生（民法・関西甲種商業学校長・関西大学学生部長）の「200ページの本ならテーマは1ページ位なもんだから、作者が何を言いたいのかを記録しておくこと」は特に印象に残り、六法全書棒読みの先生方とは違い、意義の深いものであった。



河上肇先生(中央)を囲んで(左から5番め)昭和15年

河上肇先生（国際法）から卒業前に「自愛せよ花咲く春の為ならば」と認められた短冊を戴いたんだよ」と笑顔で話して下さった。その後、この句を幾度も思い返し、噛みしめておられたそうだ。

さて入学式後すぐ、ラグビー部の勧誘を受けられた。ラグビーは経験していたので気軽に応じられた。ところがである。「練習は毎日」あり、「場所」は天六ではなく遠く小一時間程の（注3）千里山運動場（旧第一グラウンド・現総合図書館）であり、「大変厳しい練習」だと知り、その上、「退部を願った学生には、厳しい制裁がある」らしいなどの穏やかならぬ噂を耳にされた。家族（父母）との相談の上、1度の練習をすることもなく、1週間後には退部交渉に「アチャコ父さん」が、1人で千里山まで行かれた。さあ天下の漫才師「花菱アチャコ」が来たということで千里山は大騒動になる。息子のことを思い、遠路千里山まで退部交渉に出かけた父親は、真に温かな息子思いで、そこには「芸人アチャコ」からは窺うことのできない子煩悩な姿が見え、微笑ましく思える。教育に対する「アチャコ父さん」の息子への思いが、今回のテーマの「被せたか

った5つの帽子」である。父の愛情のこもった5つの帽子とは、「キリスト教系の幼稚園の帽子」、「小学校の丸帽子」、「中学校の帽子」、「高等学校の白線の帽子」、そして「大学の角帽」であった。「アチャコ父さん」は父親として子どもに最高教育を受けさせるのを義務と感じておられ、見事その義務を果たされている。



原田憲氏と（応援団OB千成会総会にて）

さて、息子藤木氏は「お父さんのお蔭で無事ラグビー部を「退部」できた。ところが不思議にも本人の知らぬ間に「専門部応援団」に入団していた。その後卒業までの3年間応援団員として活躍され、現在戦前応援団を体験した唯一の方でもある。

入団の経緯については、原田憲先輩（元運輸大臣・昭和16年予科応援団長）から小生が以前にお聴きしている。原田先輩曰く「わざわざアチャコさんが息子を思っただけで、俺が専門部応援団に入らせるのを条件でラグビー部と



大阪第8連隊22部隊入隊時(後列右から3番め) 昭和18年11月

お父さんの了解を得たんやっ
た。この間の事情を藤木氏
は全く存じなかった。そし
て、入団してまず驚かれたの
は、ご自身が新入生で学歌も
よく分からない中、学生への
歌詞の指導や応援の指導に先
輩共々駆り出されたこと。ど
うなることかとヒヤヒヤされて
いた。運動部員は全員が応援
団員であったから練習も協力
的だったが、抜け出る学生も
いた。正門には常に見張りが
おり、そこから連れ戻されて
いる。主な応援は「相撲・堺
大浜」「野球・西京極」であ
る。勝利すると、京都・京極
や心斎橋・周防町辺りで12
13人が行進や円陣を組み学
歌、逍遙歌、鯉の滝登りなど
で氣勢をあげたことが今も強
く心に焼き付いておられる。

「交差点の中で学生らが大
騒ぎをしていたら警察が来て
やな。よく見逃してくれた。
戦争(太平洋戦争)までまだ間
があったいい時代やった。」
とつくづく述懐されている。
こんな思い出があった。そ
れは「キセル乗車(注4)」を体
験された。京都から天六へ
の帰りのこと。皆が改札を押
すように次々と「うしろ」「後
ろ」と声を出して進んでいる。
何が何だか解らないまま切符
を買わずに電車に乗っていた。
天六駅に着いたらどうするの
かと不安でいると、駅に着く
なりまたもや先輩たちが大声
で「うしろ」「後ろ」と言った
ので、自分も「うしろ」と言
いながら天六改札を駆け抜け
ていた。今も駅員に対して軽
い罪の意識がずっと残って
おられる。この行為について
は、小生にも身に覚えがあり
論評は控えた。

「おっさんであり恐かった。」
と感じられた藤木氏は、予科
生と専門部生の違いは年齢か
らくるものであろうと仰った。
我が校の校風の「質実剛健」
は、この苦学生達が自然と醸
し出す資質から来ている。



19歳のとき

今日創業103年を迎えた
「京の老舗」として登録されて
いる繊維会社である。息子に
はあくまでも堅実さを勧めら
れている。厳しかったあの大
正、昭和の時代に、常に息子
を思い教育の大切さを実践さ
れた「アチャコ父さん」に、「今
あるのは親父のお蔭」と感謝の
言葉のあとに続き、父より長
命となられた藤木氏は静かに
「子離れしない父と、親離れし
ない子」と愛おしげに仰った。

《注 釈》

言葉。刻(きざ)み煙草を詰め
て吸う道具で、吸い口と雁首
(先)は金具で中間は竹材。金
は一部だけを払うという洒落か
ら来た言葉。
(注5) 明治23年10月明治天皇
が、国民に教育に關して与えら
れた言葉。日本の教育の大本
を示すものとして、修身教科書
には巻頭に掲げられていた。
(取材 田中義昭・池松知永子)



帝塚山吉田邸にて
父アチャコ41歳、五郎17歳
昭和13年正月

「花菱アチャコ」藤木徳郎
氏 明治30年7月生 福井県
出身 吉本興業所属
「エンタツ・アチャコ」の漫
オコンビにて、大正・昭和時
代のシャベクリ漫才「野球・早
慶戦」で大人気を博す。戦後、
ラジオ番組「アチャコ青春手
帖」は映画化された。「お父さ
んはお人好し」「むちゃくちゃ
でござります」や「さいなもう
」はテレビの普及により一世
を風靡した。
奇縁を記す、相方の「横山
エンタツ」の長男と次男である
吉本新喜劇の「花紀京(本
名・石田京三氏)」も関大生で
あった。

ベトナムとシンガポールの校友を訪ねて

寺内会長・渡邊組織部長らが現地で交歓

校友会では、海外支部および海外で活躍されている校友とのネットワークの一層の充実発展を期して活動を展開している。

昨年9月の台湾訪問にはじまり、本年4月にはタイ・バンコクを、そして7月31日～8月4日には、ベトナム・ホーチミンとシンガポールを訪問した。参加者は、寺内俊太郎会長、渡邊泰之組織部長、奥田恵造事務局課長の3人。



思い出話に盛り上がり、また、ベトナムの歴史や文化風習、今や世界の企業等からアジア戦略の拠点として注目されるベトナムでの経済情勢、仕事や生活での経験など、4時間近くの懇談となった。

当方からは、今後も引き続きの交誼をお願いし、母校が開設予定のホーチミンおよびハノイ連絡事務所、11月に参加予定の留学生フェアへの協力をお願いして解散となった。

この交歓会は、サイゴン千里会幹事の志方智彦氏（平3学商）の配慮で準備いただき、狩野浩二会長（昭61学工）、具志勉氏（平3学工）、山本一喜氏（平10学法）、吉崎淳人氏（平13学工）、そして、本学外国語学部生で現在、国際インターシップで在越の正高杜夫氏の5人に参加いただいた。サイゴン千里会は2～3ヶ月に一度の会合をされており、また機を見て訪問し、交流を深めていきたい。

8月1日には、本学大学院に留学し、大場謙吉名誉教授のもとで研究に励まれ、博士号を取



得された、PHAM HONG SON氏（平11D工）とお会いした。PHASON氏には、婦人同伴でわれわれを迎えいただき、有名なベトナム料理レストラン「マンドリン」で素晴らしいベトナム料理の歓待を受けた。

こちらからは、母校の近況、特に海外戦略について説明し、PHASON氏からは、日本での留学経験に基づいた、海外戦略および留学生獲得のための貴重なアドバイスをいただいた。PHASON氏は、本学卒業後帰国され、ベトナムの大手企業「Masan」グループの「Masan Consumer」の副社長を務められ活躍されている。大場先生には恩師として深甚なる敬意と愛情をお持ちで、PHASON氏にとっては「関西大学＝大場先生」であり、それを越えて、「ぜひ、関西大学のために何か協力したい」と仰っていた。

なお、本訪問を終えて間もなく、大場先生の退職記念式典に出席のため、PHASON氏が家族で来日され、本学国際部職員とともに再会し、多忙なスケジュールのなか、短い時間ではあったが、母校の海外戦略についてアドバイスをいただいた。

8月2日は、シンガポールへ移動。夕刻にシンガポール千里会12人の方々と日本料理「大隅」にて交歓会を行った。

シンガポール千里会は20年ほど前から、現在パナソニック（株）代表取締役会長の大坪文雄氏（昭46M工）を会長として結成され、長年にわたり活動されてきた。本部としては、会の存在を把握していたものの連絡する術がなく長い間懸念してきたことであった。

本年4月のバンコク訪問で泰国千里会に尋ねたところ、植田



裕照氏（昭57学法）よりシンガポール千里会の香田昌司氏（昭56学法）を紹介いただき、早速に連絡を取り、香田氏から幹事の木村勉氏（昭61学経）を紹介いただいた。

これまでの経緯を説明し、是非訪問したい旨申し上げたところ、直接に歓迎の電話をいただき、この度念願であった初めての訪問となった。加えて、長年会長としてシンガポール千里会を運営されてこられた現名誉会長の櫛部高志氏（昭41学工）は、寺内会長と同窓であり、久しぶりの再会と、櫛部氏が日本へ帰国されることになり、その慰労を兼ねての会合となった。

今回の会合では、初参加の方もおられ、自己紹介が行われ、当方も自己紹介の傍ら、寺内会長、渡邊組織部長から挨拶をさせていただいた。寺内会長からは、来年も是非訪問させていた



だきたい旨、渡邊組織部長からは、国内および海外支部の充実発展に向けてのお願いを述べ、事務局からは、これまでの経緯と長い間の連絡不通を詫び、併せて今回ようやくの訪問に感慨無量である旨述べた。そして、今後なお一層の交誼と母校への協力をお願いした。

歓談中は、各テーブルそれぞれの方とお話しさせていただき、母校、校友会の近況や学生時代の話で盛り上がり、大変楽しく充実した時間を過ごした。続いての2次会にも全員が参加して、お土産に持参した大学歌集CDをBGMに学歌、逍遙歌などを全員で合唱するなど大いに盛り上がった。

シンガポール千里会は、全日本大学ゴルフ対抗戦（本年度第16回。第1回大会は関大が優

勝）など、他大学とのゴルフ大会への参加を中心に、不定期ではあるが、集まって懇親会を開催されている。来年度の再会を誓い名残惜しく散会となった。

なお、懇親会の参加者は次の方々。櫛部高志名誉会長（昭41学工）、吉野雅博会長（昭50学経）、高橋信行副会長（昭50学法）、柿原康秀氏（昭54学経）、香田昌司氏（昭56学法）、田中隆文氏（昭63学工）、宗像宏治氏（平2学法）、安達聡重氏（平2学経）、田中勝志氏（平2学工）、宮本真平氏（平11学

経）、久田堅太郎氏（平12学商）、大谷美登里氏（平20学経）。

現在、校友会では海外支部および海外在住校友との強固なネットワーク構築を推進している。ことにアジア地域では、他にフイリピン、マレーシア、インドネシア、さらに北米、南米、欧州各都市など、海外在住の校友または支部・組織の方々には、ぜひ校友会本部までご連絡をお願いしたい。

（校友会事務局 奥田恵造

国際インターンシップに参加して ベトナム・ホーチミン市で新しい対話の場体験

— 外国語学部 正高杜夫 —

関西大学を休学して、ベトナムのホーチミンでインターンシップをしている。先日、そのホーチミンで関西大学の同窓会「サイゴン千里会」が催されるという話を耳にし、海外で活躍されている先輩方のお話を聞きに行った。校友会本部の方も出席されるということだったので、そのご縁で、このように筆をとる機会を頂いた。このスペースで、そのサイゴン千里会、また国際インターンに関して少しだけ思うところを綴らせて頂く。

私は、大学という組織を一時的に抜け、ベトナムに来てから

様々な国籍、人種、年代の方々とお話をさせていただく機会があった。サイゴン千里会も、海外で活躍される関西大学のOBの方々とお話をさせていただくだけのよい機会となっている。そのような中でひとつ気付かされたことがある。それは大学生同士のコミュニケーションの型の奇妙さというもの。

ベトナムで、私が仕事仲間や先輩方と話した際に、なぜか必ずと言っていいほど話題に上ることに「ベトナムに来た理由」や「将来の希望」といったことがある。そのような話題に根付

いた会話の中で私は、それぞれの国籍、人種、年代の様々な立場から真剣な受け答えを頂くことが出来、そのたびに新鮮な驚き、喜び、落胆があった。

一方、大学に在籍していた時にはそのような真摯な受け答えというものが得られなかった経験がある。私が、1年間海外に出るということは個人的に大きな決断であり、在学中にはよく学部の仲間、サークルの友達にその旨を相談した。その返答はどこか無責任、人間関係にヒビを入れたくないから当たり障りのない返答をしておこう、そういった示唆をもつものだ。「へーすごいね」や「やったらいいじゃん」という返事を何度聞いたことか。

ネット上で、気持ちのこもっていない「いいね」で意思疎通が図れるような気がしてしまう時代ということもあるかもしれない。学生同士の人間関係という中では、どこか希薄で、嫌われなければならない、小さなコミュニケーションでひとつのポジションを築けていればそれでいい、そういった考えのもとに対話が行われ、自分の主張をしつかりと相手に届けるといったことが難しいのかもしれない。

しかしながら、学生が良い大人として成長をしていくということ、自分のいたらなさ、欠

点を知り、そこを改善していくとする努力から始まるのではないだろうか。学生間のお互いの欠点を馬鹿にして笑いあう会話の中だけでは、自分の至らないところを会話の中で気付き、受けとめて、向き合おうとする気持ちが生まれづらいのではないのか。

ハワイ在住校友と交流 事務職員OB4人が訪問

9月末、5泊7日で本学事務職員OBの仲間4人がハワイを訪問、在住校友の2人と交流を深めた。参加者は、山田賢一、



林田嘉恵氏（右端）Kaneohe Klipperにて

木村憲治、山野泉、本多忠男。お会いした2人は、いずれも卒業後に当地で起業、今では手広く事業を展開されており、関大校友の活躍が全世界に広がっていることを実感し、大変頼もしく感じた。

1人は、林田嘉憲氏（昭43学商、II部応援団出身）。3度目の訪問は、これまで同様、滞在時のゴルフ場の手配は勿論、送迎や食事場所などをコーディネート、また観光客は訪れないであろう店にも案内され、大変お世話になった。

同氏から起業時のことや、2008年校友会海外研修のハワイ訪問時にも大変お世話になったが、その際、日本人向けラジオ放送で交歓交流会の参加を呼びかけ、集まったのは7人であった、など貴重な話を伺った。

観光業起業当初は、日本からのフライトが1日1便の時代で、観光客が1ヶ月に20人と苦しい時期だった。先輩観光案内の説明を漏らさずメモし、必死で覚えた。現在は幅の広い分野でコンサルタントをされ、「ハワイで40数年、私は人に恵まれていたの言葉は重く、大切なことに感じた。

2人目は、松竜蔵氏（昭40学商、合気道部出身）。海外研修のハワイ訪問時に参加され、「関大関係者の訪問時には連絡され



松竜蔵氏（マルカイ本店にて）

たし」のお言葉に甘え、連絡を差し上げると快諾を戴いた。お会いすると柔和な姿、話しぶりの反面、芯の通った真直ぐな人柄が伺えた。

起業当初、従業員に英語は思うほど通じず、朝の挨拶は日本式だと反発され、なかなかこちらの考え方が浸透しなかった。このような時、学生時代の合気道部での先輩後輩の付き合いや部の運営、特に部への昇格に携わった経験が大いに役立った。ハワイでも合気道をやる人は多いが、技術を重んじる姿を見て、やはり精神的に強くなければ、その人の人生に役に立っていないことに気付いた。これは、仕事をすることも趣味を伸ばすことにも何でも共通するものではないか。

現在、会員制食品スーパーを

経営の傍ら、ハワイ在住者で関西出身者の集まり「関西の会」を定期的に開き、最近では関西出身にこだわらず開催。この中から、関大出身者の輪を広げて戴くよう、松氏にお願いした。

2人の共通点は、母校での在

全日本大学ゴルフ対抗戦に参加

個人戦で田中勝志氏が当日賞獲得

シンガポール千里会（吉野雅博会長）は、9月16日にマレーシア・ジョホール州のスターヒルゴルフ&カンツリー・クラブで開催された第16回全日本大学ゴルフ対抗戦に、吉野会長ほか柿原康秀、香田昌司、安達聡重、田中勝志、木村勉の6人のメンバーで参加した。

この大会は、シンガポールに



籍クラブでの体験が、その後の社会活動を行う上で、大きな基礎となっていることに改めて感じ入り、経験談には大変感銘を受けた。

（校友会事務局・本多忠男）



同窓会を持つ日本の大学のゴルフ対抗戦で、競技はハンデキャップ制、各チーム上位4人のネット合計で競われている。関西大学は、1997年に同ゴルフ場で開催された第1回大会で見事優勝を飾っており、第2回大会でも準優勝を果たしている。その後、継続して毎回参加しているが、ここ3年は下位に甘んじていた。

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**

損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

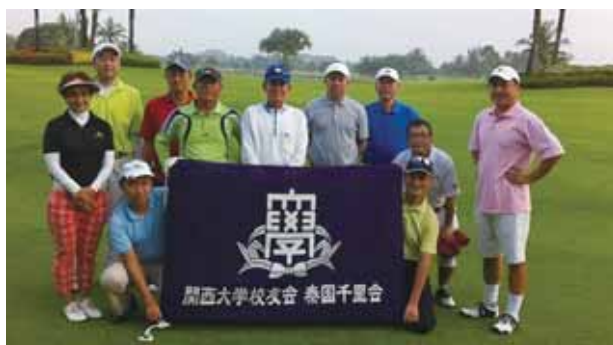


Risk Consultant & Financial Planner

株式会社 **ユニオンサービス**

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8／吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8／関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421



**雨季の中の晴天に恵まれ
11人が参加し熱戦を展開**
泰園千里会（中村良三会長）では、年2回開催されている関西7大学ゴルフ対抗戦には毎回参加しているが、関大単独のゴルフコンペを9月30日にバンコ

「今年こそは優勝を」の意気込みで臨んだ今回の第16回の大会には、27大学が参加し、優勝は早稲田大学。優勝は逃したが、昨年より大幅に順位を上げ14位となった関西大学の健闘を称えたい。中でも田中氏は、個人戦で16位となり、見事当日賞をゲットされた。

（安達聡重）

クの東にあるパンパコンリバイサイド・カントリークラブで開催した。

千里会単独のコンペは7、8年ぶりの開催。当日は、雨季にもかかわらず晴天に恵まれ、11人が参加し、和気藹々の雰囲気の中、熱戦を繰り広げた。

幹事の勝手な講評を書かせていただくと、・中村会長に始まるのホールでオーバードライプされていた・角田さんの奥様が参加され、お二人はアツアツでしたね・ブンチャイさんが無事、参加してくれた・五井先輩がタイ駐在3回目で見事初参加となった・井上さんが涙の本帰国となり、タイでの最終ラウンドだった、などなど。

優勝は鴨志田さん（スコアは内緒。前回対抗戦より向上できた！）

今回は、7大学対抗戦が11月25日（日）と決まっている。皆さま、今からスケジューリングしておいて下さい。打倒関学！なお、写真の支部旗は関西大学校友会より寄贈いただきました。感謝。（幹事 安楽成司）
（安楽成司＝anaku@sssc.hi.com）

会 催 し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部関係】

- ▷平成25年校友会新年互礼会 25年1月15日（火）18：00 大阪新阪急ホテル
- ▷臨時代議員会 1月26日（土）13：00 千里山キャンパス・BIGホール100

【地域支部】

- ▷奈良県関大倶楽部総会 11月25日（日）17：00 ホテル日航奈良（森川育明＝0743-74-3939）
- ▷豊中支部嵯峨野散策と京料理を楽しむ会 12月2日（日）13：00 （横畠正秀＝06-6331-2275）
- ▷住吉支部総会 平成25年1月14日（祝）11：00 住吉大社・吉祥殿（小林洋司＝06-6673-9063）
- ▷九州地区支部連合会若手・女子リーダー研修会 1月19日（土）14：00 福岡市天神・平和楼（花田正利＝092-935-3108）
- ▷岡山支部第56回新年会 1月19日（土）17：30 岡山駅東口・ホテルグランヴィア（ユアーズコンサルティング＝086-250-5592）
- ▷静岡支部総会 1月20日（日）13：00 静岡駅北・ホテルアソシア静岡（山口健一＝054-245-2835）
- ▷三田支部総会 1月25日（金）18：30 三田ホテル（岡田秀雄＝079-564-2246）
- ▷神奈川支部新春総会 1月26日（土）12：00 東天紅・横浜店（ダイケイ＝050-1063-9660）
- ▷神戸支部新年互礼会 1月26日（土）16：00 神戸東急イン（6,000円。Kuaakobe1956@gmail.com）
- ▷河内地区12支部新年互礼会 1月26日（土）18：00 ホテルアウィーナ大阪（八尾支部・中尾達夫＝072-998-3526、生駒支部・藤俊弘＝0743-79-5157）
- ▷滋賀支部総会 1月27日（日）10：00 JR守山駅東口前 ライズヴィル都賀山（筈井清充＝077-552-3229）
- ▷千葉支部新春総会 2月2日（土）16：30 JR市川駅北口・

市川グランドホテル（神田万久＝047-354-2091）

- ▷芦屋支部総会 2月2日（土）17：30 ホテル竹園芦屋（依藤健史＝0797-23-7004）
- ▷東住吉支部総会 2月3日（日）17：00 天王寺都ホテル（福田尚武＝06-6691-7185）
- ▷東京支部新年総会 2月16日（土）12：00 関西大学東京センター（パソナ監査役・堺精一＝03-6734-1015）
- ▷愛媛支部総会 2月16日（土）18：30 松山市・いよてつ会館（稲荷和重＝089-956-1869）
- ▷島根県支部総会 2月16日（土）時間・場所未定（大西弘悦＝0852-23-1082）
- ▷南勢支部総会 2月17日（日）11：30 松阪フレックスホテル（時田耕路＝0398-26-7209）
- ▷埼玉支部総会 2月23日（土）13：00 さいたま市民会館うらわ（高木良二＝048-882-7753）
- ▷東予千里会総会 2月23日（土）15：00 今治市で開催（定岡哲嘉＝0897-32-9767）

【職域会ほか団体】

- ▷関大チェリークラブ第39回総会・懇親会 11月30日（金）18：30 大阪新阪急ホテル2階・星の間（完全復活された元MBSアナウンサー“ミスター・トラ！”唐渡吉則さんの面白い「今年のだめトラ、タイガースの裏の裏話」の講演やタイガース選手のサインボールプレゼントあり＝予定。また、校友総会でチェリークラブが表彰を受けました。会員以外の方もお問い合わせの上ご参加下さい。宮腰健司＝080-5707-8212）
- ▷経済人クラブ第2回役員会 12月10日（月）18：00 関西文化サロン（校友会事務局＝06-6368-0041）
- ▷関大大阪倶楽部秋の総会 12月2日（日）8：45集合 太融寺北側出発・三田方面（校友会事務局＝06-6368-0041）
- ▷東京経済人倶楽部新年講演会・年賀会 1月17日（木）18：45 パソナグループ本部（関西大学東京センター＝03-3211-1670）

北から 南から 《各地支部だより》

参加者総勢1997人で盛大に 創立100周年記念総会を開催

愛知支部（森田敏二三支部長）は、9月7日に創立100周年記念総会を名古屋観光ホテルで開催。母校から寺内校友会長、上原理事長、近隣7支部、大阪平野支部、京都支部、秀麗会代表の出席をいただき、校友150人、総勢1997人が参加した。受付では、記念誌とお祝いの紅白饅頭が配布され、参加者から絶賛の声があがった。



第1部総会では、現役応援団の指揮で学歌斉唱。今回100周年を迎えた中で多くの先輩後輩が他界され、全員で黙祷した。その後、歴代支部長に感謝状と記念品が贈呈された。12代岡田英彦氏（22工専）、14代岩瀬彌三郎氏（28商）に森田支部長から感謝状と記念品が手渡され、後輩の感謝の気持ち伝えられることが出来た。森田支部長の挨拶の後、寺内校友会長、上原理事長から大学の近況とお祝いのお言葉を頂戴した。続いての議事ではすべての議事が満場一致で可決された。

第2部の懇親会は、杉本秋男（48M商）100周年実行委員長の挨拶で始まり、東郷事務局長の乾杯の音頭で開宴。

春の叙勲で松本定道氏（34経）が旭日小綬章、鈴木正彦氏（40法）が瑞宝双光章を受章されたことの紹介があり、参加者全員が喜びを分かち合った。

アトラクションでは、落語大

学による落語。関大亭万太（田中慶三・文3）が演目「道具屋」で、参加者一同を楽しませ、応援団員による力強い太鼓の音に乗せ、チアガールは舞い一層の盛り上がりを見せた。

創立100周年記念行事として総額50万円のお楽しみ抽選会が、富田健嗣事業委員長（平10情）、山田亮治同副委員長（平10情）の進行で始まり、特賞に有本純子さん（平5商）が「ホテル花水木」の宿泊券をゲット。その他高橋大輔のサイン入り色紙・本、商品券、有名ホテルの食事券など大変豪華な景品で会場は大いに盛り上がった。この抽選会には、森田支部長、杉本実行委員長からも多くの景品を寄付して戴いた。

最後に応援団長の指揮のもとに逍遙歌を合唱し、前田正子副支部長（35文）の閉会の辞で幕を閉じた。

その後、塗木桂子組織委員長の手配で、ホテル1階の「ジャルダン」で二次会が始まり25人余が参加した。

なお、岡田英彦代表顧問が名古屋銀行・豊田自動織機の校友16人を自費で招待され、レセプトタレント数人を自費で手配された。深く感謝とお礼を申し上げます。

（幹事長 原勝也）
（知多工業・森田敏二三）0562-33-5822

若手の参加者が増加 フェイスブックを開設

24年度の宮崎千里会（前村幸夫会長 懇親会を、池内専務理事、黒田副学長、田中校友会副会長らを来賓に迎え、8月25日に開催した。特に専務理事、副学長には、地方教育懇談会終了後のお忙しい中での出席であった。

今年は、フェイスブックに宮崎千里会のページを開設し、参加呼びかけを積極的に行い、例年に増して、若手会員参加者の増加となった。来賓の方からも「これ程平成卒業年度の参加者が多い支部はめずらしい、今後このような活動を続けてもらいたい」と、お誉めと激励の言葉をいただいた。

会は、学歌斉唱の後、前村会長から「今後も、宮崎のやり方で会員を増やし、活発な組織を



築いて行こう」との挨拶があった。その後、出席者の自己紹介や近況報告を行い歓談となった。今年も、短い時間ではあったが、宮崎の自然が育てた海の幸などの料理に舌鼓をうちながら、先輩、後輩、同窓と親睦を深め合う貴重な時間となった。

最後に、恒例のビンゴゲームを行い、逍遙歌合唱後、皆の健康と宮崎千里会の更なる発展を祈念して閉会となった。

（竹田浩昌・55工）
（前村幸夫）0985-28-2322

長崎くんちにブース 20万の来場者にPR

長崎支部（濱脇哲夫支部長）では、10月7日から8日にかけて龍踊り等で有名な長崎くんちに校友会の社会連携助成制度を活用し、母校のPRと支部会員の親睦を図るため、ブースを開設した。

晴天にも恵まれ、開設場所が国道に面したメイン会場入口ということもあり、路面電車、バスなどの車窓からも関大のぼりがくっきり見え、看板等の設置により、多くの来場者の目に触れ、否応なしに20万人を超える方に関大をアピールできた。

当日は、福岡千里会の花田名誉会長、白木会長夫妻も前日からのくんち見物ということもあ



り、会場内を案内し、長崎支部の取り組みを紹介した。

ブースの前では、関大志望の高校生、親御さんに受験資料の配布や写真の女子高生とは「関大マダマ」を学校のチャリダー部で踊っているとのことでした。

が盛り上がり、ご主人の転勤で長崎に来て関大ブースを見て、私も関大ですと名乗る方や、関大卒で上海に在住する中国人女性がお見えになったり、連休中ということもあり現役関大生がいたり、また、これまでお会いしなかった先輩校友から声をかけられたりなど、新たな出会いと関大ネットワークの広さを強く感じた。

ご通行中の市民の方からは、関大は入試が難しいとの話も聞かれる中、多くの市民の方に関大を知っていただいたことは、大成功だった。ご協力いただいた校友会本部、遠路松浦市や西海市を始め参加いただいた支部会員の皆様に感謝

とお礼を申し上げます。

（支部長 濱脇哲夫）

（濱脇哲夫）095-826-1314

『関大卒』の縁を生かして

24年度佐賀千里会（山口正文支部長）総会は、8月19日に恒例の佐賀市「櫓庵治」で開催された。父親が佐賀県出身である本部の田中副会長はじめ、支部も福岡、北九州、山口に加え、大分からも初めてお見えいただいた。会員は22人で、うち初参加は3人だった。

今回は、会員相互がもっと知りあえる機会として、従来以上に、会員紹介の時間を設け、今後のお互いのネットワークづくりを生かしてもらおうとした。まだまだ十分ではないが、折角の「関大卒」の縁を公私に生かしてもらいたいと考えている。是非ご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

当日は会員である真柳直樹氏が経営される『酔美（すいび）』に2次会の席を設け、まさに佐

情報交換し交遊深める場に

全員で六大学OB会賛歌を熱唱

24年度北海道支部（松本陽一支部長）総会は、9月15日に

25人の北海道在住の校友が集まり開催された。



賀のお酒文化と関大愛を堪能した。

なお、その席では、若手からの意見として、「総会案内をもらうが、最初に参加を申し込むまではなんとなく敷居が高い気がする」とかなり本音に近い意見を頂いた。幹事としては、多少、努力不足を指摘され凹んだが、更なる前進の糧とできるよう切り替えていきたいと考えた。さらに、若者主体の「会員の集い」を企画できないか、との貴重な意見も得た。『酔美』という若者（精神的に）にも喜ばれる拠点もあるので、若い世代中心で企画を進めたいと思う。（松永久光 0952-5312190）

来賓として楠見学長、森理事・相談役、古川副会長と学校関係者5人に出席いただき、母校から一番遠くにある支部として、学校の近況をつぶさに拝聴できる機会を得られたことで、会員に大きな勇気と元気を頂いた。

一方、肅々と進行していたはずの支部総会が、いつの間にか懇親会に変貌、先輩・後輩入り乱れ、仕事や趣味の情報を交換し、交遊を深め合う場になっていった。当支部にとっては、年に一度の一大イベントであり、こういう形も大いに意義あるものになった。

総会終了時には重要な確認事項があった。当支部の校友会活動の停滞を憂いて、「変革会議」が行われ、そこで決定されたことを実行に移して行こうということを確認し、支部総会を終えた。

最後に、昨年、完成発表され



た札幌関西六大学OB会賛歌を全員で口ずさみ終った。

（広報担当 大坊健二）
（松本陽一）011-572-0896

役員も出席し変革会議OBの入会促進を図る

北海道支部の有志から、校友会活動の停滞を憂いて、変革をしようじゃないかと提案され、8月21日に支部長以下支部役員の出席のもと「変革会議」が開催された。

今までの支部活動は、北海道在住者による「関西六大学ゴルフ対抗戦」への出場者が中心だった。加えて、年1回本学の理事長・学長が来道される機会に支部総会が開かれるのを通例としていた以外は、活発な活動がされていなかった。

変革の趣旨は、現在行われている視点のみに留めず、幅広い校友会活動の展開で、道内に400人以上いるとされているOBの皆さんの入会促進を図ろうというもの。

詳細は、イベント部会（ゴルフ・パークゴルフ・マーケティング・校友会開催企画部会）とゼネレーション部会（ジュニア・ミドル・シニア部）の融合による組織を立ち上げ、各部の正副会長で幹事会を構成するもの。これから解決しなければなら



ない課題は多々あるが、出席者一同、方向性は確認できた。今後の活動が校友会支部の浮沈にかかることを肝に銘じ散会した。

(広報担当 大坊健二)

楽しかった浦安万華鏡 関大クイズで関大グッツ

残暑が厳しい9月8日、千葉支部(神田万久支部長、45工)懇親会が行われ、東京支部から宇野尚志氏(平3商)にも出席いただき、総勢15人が参加した。昨年、非常に好評だった千葉県浦安市にあるスーパー銭湯「大江戸温泉物語、浦安万華郷」での再会である。スーパー銭湯といえども、天然温泉あり、いろいろな露天風呂、内風呂を思う存分楽しんだ。

汗を十分流した後は、待ちに待った宴会のはじまり、はじまり…。支部長の挨拶に続き、木原國男氏(31商)による乾杯の



発声。や々と喉が潤せると思いきや…。暫時挨拶でお預け。ようやく乾杯!風呂上がりの一杯の美味かったこと…。

歓談の後、全員の自己紹介と近況報告を、たっぷり時間をかけて行なった。

程よく酔いが回った所で、本

日の目玉、神田支部長発案の「関大クイズ」。全て関大にまつわる問題を一人一人に出し三択で解答させる。例えば「関大の前身となった学校名は?」、「創始者の名前は何?」、「ロンドンオリピックに出た現役選手は?」。「最近、大名跡を継いだ関西の落語家は?」と簡単な問題から難問まで。但し全て正解できるように三択が工夫されている所が支部長の情いところ…。クイズの賞品は勿論「関大グッツ」、応援タオルをゲットしみんな大満足…。落ち着いたところで記念撮影。

今回も喜多良文(平6経)校友の流暢な司会に感謝。更に風呂に入るも良し、帰るも良し…。幸せな気分の内にお開きとなった。

(広報 豊田稔・45工)

(神田万久〓047-354-2091)

「縁」と「絆」深める 八坂神社の「中村楼」で

9月2日残暑の中、八坂神社境内にある格調高い「中村楼」で京都支部(牧村史朗支部長)女性校友の集いと中・東地区の合同懇親会が催された。

落語大学OGの花の家さんごさんの話で始まり、同じくOBの浪漫亭不良雲さんの上方落語を一席聴き、その後おいしい食事をしながらの懇親会へと移った。

「口福(幸福)に感謝を込め



て」というテーマで、参加者がそれぞれの思いを語りながら楽しい時間が過ぎて行った。

席が「クジ」で決められたこともあり、顔は知っているが今まであまり話したことがない方とも親しく話をする事ができ「懇親会」の名の如く充実かつ関大の「縁」と「絆」を強

東日本大震災で応援活動の 消防局長・千福校友が講演

西宮支部(中川經夫支部長)の総会は、10月6日、池内啓三理事長、楠見晴重学長、河野昌弘西宮市長ほか来賓・校友・現役学生など106人の参加を得て、ノボテル甲子園で開催された。

震災当日、高台に逃れた方々の撮られた映像には言葉もなく、一瞬にして町ひとつが消滅する津波の威力を、息をのんでただ見つめるだけだった。

大阪府消防隊は、地震発生6時間後には万博公園に105台の消防車が集合し、36時間かけて岩手県釜石市大槌町に入り、救助活動を行った。また、東京消防庁と共に福島第一原子力発電所事故における対応にもあたり、見事成功させた。経験したことのない困難と向き合い、使命感と無力感が交差する胸中、地元の方々との触れ合い、現地の様子や今後の問題点等の話に聞き入った。終了後盛大な拍手が沸き起こった。

第2部講演会では、大阪市消防局長・消防司監の千福好伸氏(51学経)を迎え、「東日本大震災(大阪消防の応援活動)と今後の消防行政について」の演題でお話しを伺った。

めた会であった。

よい雰囲気でお話しをしながら幸せなひとときに浸り、感謝の念を実感した日であった。お互い校友の再会を念じつつお開きとなった。

(須山薫・51社)

(大西康治〓075-691-3513)

平成23年度 1級建築士 設計製図試験

当学院
教室開講都道府県
合格者占有率

No.1

合格者の半数以上は当学院の受講生!!

51.7%

当学院教室開講都道府県合格者 4,369名中 2,259名

関西大学 平成23年度 1級建築士合格者

卒業合格者 **51名中、30名が**
当学院の講座を利用して合格されました!

※当学院教室開講都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※上記当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含んでおりません。

平成23年度 2級建築士 試験

学科試験	設計製図試験
2級建築士 学科関連コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 97.1% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験60点以上受講生615名中、合格者597名	2級建築士 設計製図合格対策コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 82.3% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験ランクA受講生141名中、合格者116名

平成23年度 宅建 試験

学科試験	実地試験
当学院受講生 基準達成者 合格率 92.5% 基準達成受講生40名中、合格者37名	当学院受講生 基準達成者 合格率 85.7% 基準達成受講生21名中、合格者18名

平成23年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験	実地試験
当学院受講生 基準達成者 合格率 88.8% 9割出席・9割宿題提出受講生160名中、合格者142名	当学院受講生 基準達成者 合格率 83.2% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験基準達成受講生184名中、合格者153名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士	1級・2級 建築施工管理技士
宅地建物取引主任者	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(社)日本経済団体連合会会員
(社)日本建築学会会員
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 一級建築士定期講習 登録番号 第5号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-6374-1411	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711	

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りません。

www.shikaku.co.jp

学院長 **岸 隆司 (法48卒)**

海蔵寺浩顧問の乾杯で食事に移った。

歓談の途中、継続事業である「留学生支援」対象の3人と「クラブ支援」対象のギタークラブ・ワンダーフォーゲル部に授与式を行い、挨拶・活動報告を受けた。途中質問や掛け声が飛び交い、終始賑やかに笑顔の絶えない交流となった。(山本和世)



新支部長に門田安正氏
副支部長担当引き継ぐ

宝塚支部(兼丸秀樹支部長)24年度総会は、10月6日に宝塚ホテルで開催された。出席者は校友・来賓など50人。

第1部・役員改選では、兼丸支部長の退任に伴い、新支部長に門田安正氏(39商)を選出した。また支部活動の活性化のため導入している総務、組織、財務、事業、広報、総会等の副支部長担当制を引き継ぎ、塚本(43法)、鷺見(46経)、坂本(51社)、三坂(62商)、堂山(62法)、児玉(平15文)の各氏を副支部長に再選、会計監事に中島(42法)、室田(46法)の各氏を選出した。

第2部では、応援団第90代・花岡団長の指揮により、学歌を

(栄興電機工業・小坂圭一) 06-6491-5301

斉唱、田中校友会副会長から挨拶を頂いた後、近隣支部を代表して箕面支部長の中井氏の乾杯の発声で宴に入った。

特別出演では、現役学生のアカペラサークルBrooklyn 304(加藤勇希代表)16人による2ステージの演奏があった。5、6人が声だけで作り上げる音楽が新鮮で無伴奏での歌声に聴き入った。曲は「上を向



ジャズやポピュラーで華やぐ関大OB・OG交歓の場に

幾分涼しげな初秋の10月6日、川西支部(井上能一支部

いて歩こう」やジブリなど聞き慣れたメロディもあり、会員一同、思わず手拍子となり、会場が一気に和やかな雰囲気となった。

恒例の校友紹介コーナーでは、今春に黄綬褒章を受章された高橋一夫元宝塚支部長の紹介や初参加の若手校友などの自己紹介もあり、テーブルを越えての交流が予定した時間を超えてなされた。

例年に比べ平成卒校友の参加が増えた。今後、彼らが支部活動に対して積極的な参加を望むと共に、新しい風を吹かせてくれることを大いに期待します。

(児玉美知子・平15文) 塚本寿一 0797-851491

1部では、井上支部長による開会の挨拶の後、初参加者の紹介を行った。議案審議では、荒木敏雄副支部長が事業報告、岸



本文彦副支部長が会計報告を行った。続いて24年度の事業計画案・予算案の審議を行い、今年度は役員改選期にあたり役員選任の審議も行った結果、全ての議案について出席者より承認を得た。

総会2部に入り、この1年間でじくなられた支部校友に黙祷を捧げた後、学歌を斉唱。来賓紹介、祝辞と続き、加茂忍顧問による乾杯で交歓会の開幕となった。

会食が始まり会場は、関大オールドボーイ・オールドガールの交歓の場となった。司会者の軽妙な語り口で宴は進み、途中では校友メンバーを含むジャズ・バンドによる演奏やボーカルがあり、華やいた時間が過ぎていった。

交歓会も終わりに近づき、恒例の追遠歌を応援団リーダー部出身の北野倫也氏の指揮のもと高らかに歌い上げ、終了。しばし旧交を温め、お互いの健康を気遣い、またの再会を確かめ合った2時間半であった。

(白井宏・45字文
荒木敏雄 072-758-1787)

5支部合同で史跡探訪 清和源氏の歴史を見分

9月22日に西摂の川西・伊丹・宝塚・猪名川・豊能の5支



部合同の「史跡探訪の会」を開催した。これは、本年の校友会新年互礼会で川西、伊丹、宝塚の支部長・副支部長の間で偶然に出た話から実現する運びとなったもので、猪名川、豊能支部も加わっていた。

初めての今回は川西支部(井上能一支部長)に準備万端全てお世話になり、川西市内で開催された。

清和源氏発祥の地・多田神社に10時集合、快晴のなか5支部から35人が参加した。多田神社では神社関係者の方から約1時間半にわたり懇切でユーモアのある神社の歴史を解説いただき、普段は入れない神社の奥域部分や宝物館まで見せて頂き、清和源氏の祖・源満仲をはじめとする系譜と神社の史跡を堪能した。

能勢電車で「滝山」駅へ移動、八坂神社境内で昼食し、近年、整備・補修された勝福寺古

墳を見学。この古墳は6世紀初頭に築造されたこの地方で初期に横穴式石室が築かれた古墳で、川西市教育委員会と大阪大学の合同調査で全長が約40mに及ぶ前方後円墳であることが判明していた。

さらに、川西市の中央公民館レセプションルームで今回の史跡探訪の講師である川西支部の菅原巖氏(34文史)による「清和源氏の歴史」について約1時間及ぶ講演を拝聴した。

最後に待望の懇親会を同所で開催し、アルコールも入って、一人一人のスピーチもあり、参加者一同大いに懇親を深めることができた。

ちなみに、この日は秋分の日が9月23日ではなく、9月22日になるのは明治29年以来116年ぶりの記念すべき日であったそう。 (幹事 直宮憲一・49院文)

能楽部が「高砂」披露 参加現役生9人を紹介

第73回尼崎支部(大角教雄支部長)総会は、9月8日に都ホテルニューアルカイクホテルに93人が集い開催された。

第1部総会は、田中正喜幹事長の司会で始まり、学歌斉唱・物故校友黙祷に続いて、大角支部長が「当支部の方針は『老・壮・青・相集い』の心をモットーとしている。今回のロンドン



五輪での日本選手の活躍は目覚ましいものがあり、特に団体競技での人の和、人の力を充分に発揮した。我々も関西大学との絆・和を大切にして一層の交流を図り、大きな輪を築いていきましょう」と挨拶し、議事に入った。議事は順調に進行し、すべての議案が承認された。

第2部懇親会は、日本の伝統芸能「能楽」を文化部能楽部の松本侑子、富田花梨、辰巳裕紀さんによる仕舞「高砂」の披露でオープニング。

山田実総務部長と山中直子幹事による司会進行で、河本享副支部長の開宴宣言に続き、来賓代表で田中義昭校友会副会長が母校と校友会の現状報告を含めた挨拶を述べ、小坂道一法人顧問(体育OB・OG会長)が「最近は女子の活躍が目覚ましいが、全体としては物足りない。

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO-9001



ISO-14001



OHSAS-18001



文武両道の強い関大であるためにスポーツ強化を目指すべく学生を応援して参りたい。ご支援をお願いします」と挨拶。そして、森山敏夫尼崎市役所秀麗会会長が乾杯発声を行い、各テーブルで懇親が始まった。

懇親会では、参加現役学生9人の紹介、大学卒業50年を迎えられた遠藤豊校友へ記念品贈呈が行われる等、和やかに交流の時間が進んだ。応援団による演奏もたつぷりと披露されるなど、瞬く間に時間は過ぎ、最後に、重田守康副支部長が、「今日は若い方に力強いエネルギーをいただいた」と挨拶し、閉会となった。 (松本勝憲 (田中正喜) 06-6499-1948)

新会長に清原博氏就任 落語2題に爆笑の連続

24年度明石関大クラブ(鈴木一雄会長)総会は9月8日に明石城お堀端「グリーンヒルホテル明石」に、来賓8人、校友32人の出席で開催された。

鈴木会長は挨拶で、平成14年7月に板東博前会長が急逝されたに伴い、急遽選任されて10年、かねてより次期会長として待望されていた清原副会長が近年とみに体調を回復された。ここに懸案の会長引き継ぎができたと、万感の思いを謝辞に託し



て述べたところ、会場からは長年の任をねぎらう拍手がひときわ高く鳴り響いた。

また、顧問の佐野勝美元明石市議会議長が、昨秋の叙勲で旭日小綬章受章の慶事に、鈴木会長から褒状を贈呈して祝意を表した。

来賓は、寺内校友会長、近隣4支部の代表らで、代表して寺内会長に挨拶いただいた。

総会議事は、23年度事業・会計報告、役員改選では前記のとおり、新会長に清原博氏を全員一致で選出し、24年度事業・会計予算の各議案も原案どおり承認された。

第2部催物は、文化会落語大衆OB2人を招き、落語2題を楽しんだ。桂三枝師匠の文枝襲名の朗報や、若手校友落語家「関大寄席」の開催などで出席者の関心も高く、会場は爆笑の

連続であった。

懇親会は、渡邊神戸副支部長の乾杯の発声に杯を高く掲げて開宴となった。料理やお酒を満喫しながら、自己紹介と近況報告で新たな校友知己も生まれていた。また今回は、平成卒の若い2人の校友初参加もあり、ひとときわ話題の盛り上がりが見られた。 (顧問 鈴木一雄 (ふじもと法律事務所) 078-917-7481)

恒例バーベキューの集い 校友の絆づくりにも一役

晴天に恵まれた8月24日夕刻、明石大蔵海岸に35人の校友が集合。ここは淡路島と東洋一の威容を誇る明石海峡大橋が一望できるほか、海峡を行き来する巨大大船も近くに見られる天下の名勝で、いつ来ても楽しい観光スポットである。

第4回となる明石関大クラブのバーベキューの集いを今年も盛況に開催した。昨年まで主催を務めてくれた菊川和俊副幹事長が亡く、藤本幹事長と女子常任幹事が連携して、多様な準備を進めていただいたの用意万端であった。

この甲斐あって、近隣支部の神戸から6人、芦屋から2人の校友を迎え、明石関大クラブは同伴の家族も含め27人、総勢35人のにぎやかなバーベキューの



集いとなった。

この集いは、近隣支部における平成校友の活躍に学び、当時の菊川・岩倉両発起人の立案で開始した。会場立地の良さもあって好評を得て、クラブの名物行事となりつつあり、校友の絆づくりにも役立っていると自負している。今後は東播・姫路・小野・淡路の各支部にも呼びかけ、さらに大きな輪を目指している。 (顧問 鈴木一雄)

初秋のバーベキュー開催 家族や近隣支部校友参加

秋分の日となる9月22日、芦屋支部(直林法廣支部長)では六甲の山並に囲まれた奥池の畔にて、バーベキューの集いを催した。近隣の神戸支部や明石支部のゲストや校友の家族を交え、参加人数は20人を超える盛会となった。現役学生から還暦を過



ぎた校友までが世代を越えて炭火を囲み、のびやかに歓談のひとときを過ごした。

一般にバーベキューの料理という、武骨な一皿が想起されるが、本年誕生した「芦屋支部女子会」メンバーが趣向を凝らし、彩りある酒肴が用意されたのが効を奏した。もっとも恒例行事ということもあって、各々があれやこれやと準備に励む。こういった共同作業や心づくしが、バーベキューにおける最高のスパイスであることは間違いない。 (中村肇乃信・平10法 (依藤健史) 0797-2317004)

6人で第2回女子会開催 支部と地域の活性化を!

9月22日、芦屋市内のビストロCuisine Perleにて芦屋支部第2回女子会を開催した。初回



ます。(女子会 河口 紅

地震災害の備えを講演 河田学部長が支部総会で

母校の膝元にある吹田支部(奥谷英夫支部長)では、9月22日、吹田市文化会館「メイシアター」で24年度総会を開催した。恒例の講演会。今年は、社会

のメンバー(浅尾、石川、河口、平田、広野、山本)に加えて今回から広野さんも加わり6人での開催となった。

近況報告から初めて、仕事の話や趣味などで話題は尽きることなく、楽しく交流できたと思う。支部活動に関しても、女子

ならではの視点を活かして活発

にしていくための具体的な提案

も次々と生まれ、今後の支部活

動がますます楽しみとなった。

また、芦屋支部女子会として

積極的に情報発信していくこと

も全員一致で決まったので、フ

エイズブックやメイリングリス

トなどを活用し、お店の情報や

イベント情報、さらには芦屋流

ライフスタイルなどを発信する

ことで、芦屋市の活性化にもつ

ながることも視野に入れている。

今後、少しずつ交流の輪を

広げて、女子校友の楽しい交流

の場としていきたいと考えてい

席者は他人ごとではないだけに講師の説明に熱心に耳を傾け、プロジェクターからスクリーンに映し出される映像に集中して

いた。河田教授の熱のこもった

説明は、気が付けば予定時間を

大きくオーバーしていた。

講演会に先立って催された総

会には、上原理事長、児玉評議

員会議長、寺内校友会長、また

井上吹田市長、中野衆議院議

員はじめ、近隣友好支部からの

代表など多数の来賓を迎えた。

開会の挨拶で奥谷支部長は、

「今回の役員人事では役員の若

返りを図った。そのことで支部

を活性化し、ひいては母校の発

展に貢献したい」と述べた。

議事の中では、役員の任期を

1期3年から2年にするなど、

支部会則の一部改正が上程され

承認、可決された。

第3部の懇親会では、乾杯の

後、新卒者や現役参加者、初参



加者がステージに上がり、自己

紹介をして歓迎の拍手を受けて

いた。アトラクションでは、応

援団の演舞演奏や校友の表現舎

乱坊氏のトークショーに沸き、

空くじなしの福引に一喜一憂し

ていた。(幹事長 成岡昭二)

(奥谷英夫 〓 06-6836-6

870)

総会中にラジオ生中継！ 懇親会は趣味別で配席

河内長野支部(榎本正人支

部長) 24年度総会は、9月9

日、天然温泉河内長野荘に、田

中校友会副会長はじめ近隣支部

代表の方々を来賓に迎え約60人

の参加で開催された。7月の市

長選挙で再選された市長の芝田

啓治校友も出席された。

第1部は役員改選議案を含め

各議案が満場一致で原案のおお

り、承認可決された。支部長に

ご良縁

成婚率の高さが決め手

手づくり100%のお世話

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ

無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層

国公立・有名私立大卒が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話

ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のための構成

成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の為に他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー

帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム

どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。

お問い合わせセンター [大阪・神戸・京都] 携帯・WEBからも エムロード 結婚 検索

0120-4122-46

営業時間 / 10:00~18:30
定休日 / 水曜日

●ドクターズコース
●一般コース
●シニアコース 有

資料請求
無料

株式会社 エムロード®

大阪 大阪市北区茶屋町8-21-3101 (NU茶屋町プラス最上階) 神戸 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F 京都 京都市下京区室町通綾小路上ル鶴鈴町480 オフィス・ワン四条烏丸6F

は、榎本支部長が再任された。

トピックとして、MBS（毎日）ラジオが当支部の総会をライブ中継で取材申込みがあり、打ち合わせもそこそこの、総会を一時中断して5分間の生中継。

加藤副支部長が、桂坊枝さんとのインタビューに一人で、緊張の中にも和やかに、かつ完璧に応じた結果、拍手喝采であった。

坊枝：最後に、弁護士の加藤さんに、こんなこと頼んで申し訳ないですが、「か」「ん」「だ」「い」と順番に言ってくれますか。

加藤：はい、いいですよ、「か」

坊枝：「省みれば 最も楽しかった学生時代」

加藤：「ん」

坊枝：「うんと頑張り ムチヤもしました」

加藤：「だ」

坊枝：「大好きな友人、先輩、後輩と そっといえは」

加藤：「い」

坊枝：「いつでも学生時代の若さに戻れます」「関西大学校友会万歳！」（万歳！拍手）

第2部では、桂ちきんさん（古典落語 犬の目）と桂文枝さんの3番弟子の桂三歩さん（お楽しみ新作落語）の落語二席。

第3部の懇親会では、今回から配席に工夫を凝らした。予め校友各人から趣味をお聞きして



おき、趣味のグループ化を図り着席して頂いたため、校友相互が余り知らない人同士でも、一気に話題に花が咲き盛り上がった。（書記 古橋秀章）

（榎本正人）0721-63-5120

130人参加で定時総会 恒例の福引に豪華賞品

茨木支部（別處）一支部長の24年度総会が、8月9日にホテル阪急エキスポパークで、上原理事長はじめ田中校友会副会長など多くの来賓、現役応援団を迎え、130人を超える校友の参加の下、盛大に開催された。

第1部の記念総会は、齋藤勝幹副支部長の司会進行により、

応援団第90代花岡達也団長の指揮で学歌を斉唱。理事長はじめ校友会や近隣支部などの来賓紹介の後、別處支部長が挨拶。上原洋允理事長、田中副会長から、そして校友の木本保平茨木市長からも、ご祝辞を頂いた。その後、田村副支部長を議長に総会議事を審議、事業報告や予算など承認された。

花岡団長の指揮で逍遙歌を合唱、福田博行副支部長が閉会の挨拶を述べ、お開きとなった。（幹事長 小西盛人）（別處）072-634-6613

50周年を機に一層飛躍を 大災害時の陸自活動聞く

泉大津支部（吉田常佳支部長 創立50周年記念総会が、7月1日に泉大津市内のホテルで開催された。田中校友会副会長をはじめ、堺、高石、和泉、泉佐野の各支部からも多数来賓が出席、支部会員と合わせて50人を超える参加者となった。

泉大津支部は、昭和37年に設立。数々の変遷を経ながらも母校と連携をはかるとともに、毎年支部総会や役員会を開催し、関西大学の隆盛を図るという校友会の目的達成のため歩んできた。

総会は、学歌斉唱で開会。吉田支部長は、50周年を機に一層の飛躍を期待したいと挨拶。記念講演は「東日本大震災・和歌

山大水害における自衛隊活動」をテーマに、陸上自衛隊信太山駐屯地の古庄信二連隊長の講演があった。

かつてない盛況のうちに3時間余りの記念総会は、閉幕した。これを踏まえ、今後の更なる支部の発展を願わずにはいられない。泉州地域の支部連合の動きとあわせて校友会の発展を祈りたい。（深井亀造）（西田耕作）0725-33-2679



安原支部長再任を決議 支部結成25周年迎えて

安原支部（安原敏夫支部長）総会は10月28日、本部から石井副会長、近隣支部から西田門真

交野支部（安原敏夫支部長）総会は10月28日、本部から石井副会長、近隣支部から西田門真



支部長、三木四条副支部長、北田大東副支部長、杉本守口副支部長、上田寢屋川幹事長らを来賓に迎え、今年も交野市立保健福祉総合センターで開催された。

藤原副支部長の開会の挨拶で始まり、学歌斉唱、安原支部長の挨拶の後、議事に入った。まず、事業・会計・監査報告を承認。任期満了による役員改選では、安原支部長と相馬・稲田・藤原・西井・西岡氏の5副支部長が再任された。神谷幹事長、奥野会計も再任。また会計監査には中氏を再任し、千本氏を新任した。

来賓を代表して石井副会長から母校と校友会の近況を交えた興味深く、心温まる祝辞を頂戴した。

懇親会は、仲谷幹事長の力強い発声で乾杯し開宴。一年振り

の再会を喜びあったり、懐かしい話に花が咲き、母校の充実発展を願う気運で盛り上がり、お互いの旧交を温めあった。校友の輪が会場いっぱい広がる中、逍遙歌を高らかに斉唱し、相馬副支部長の閉会の挨拶で閉会となった。
(事務局 奥野和夫
安原敏夫〓072-892-6714)

校友・家族の慰安旅行？ 地域施設で秋の味覚満喫

恒例になった柏原支部（岡野有幸支部長）主催の「ぶどう狩り」は、前夜の雨でぶどう園が利用できず、急遽「秋の味覚を楽しむ会」と名称を変更して9月23日に実施した。

近鉄大阪線地下駅に柏原、八尾、富田林の河内3支部校友家族が、大人31人、子供7人、幼児1人が集合。その足で柏原市の地域福祉施設「ほのぼのかたしも」へ移動。そこには、集会室、プレイングルーム、カラオケ室、足湯等の設備が整えてあった。

テーブルには糖分たっぷりのベリーAという品種のぶどう、ショートケーキ、スナック、紅白のワイン、ビール、ジュース、お茶など盛沢山の食べ物があり、各自持参の弁当をひろげて歓談。続いて八尾支部の水野富藏名誉支部長（芸名トミーズ水



野）夫妻によるマジックショーを楽しんだ。金魚鉢に生きた金魚が洋服の中から出たり、空の筒の中からハトが出た時には、参加者全員が大拍手であった。

食事を済ませた後、子供達はプレイングルームへ、大人は足湯とカラオケへ移動。当初立ち寄ることになっていたぶどう園から、ベリーAの葡萄が31箱届けられ、主催者からお土産として大人一人一個の箱入りの葡萄を頂き、大人も少々笑顔。家族そろっての慰安旅行のようであった。

最後は参加者全員で後片付けをしたが、今回、柏原支部の役員・幹事の皆さんには、ぶどう園との折衝や施設の準備などご苦勞を願った。

子供達の笑顔があったし、校友家族も喜んでいただけたと思う。「これに懲りず来年もという

リクエストのお声があれば引き続き実施したい」と力強い岡野支部長の決意があった。

(八尾支部長 中尾達夫
岡野有幸〓072-972-0325)

情報交換と親交深める 総会後初の役員・幹事会

7月の総会で平井支部長が3選された守口支部（平井治支部長）では、総会後初の役員・幹事会を8月22日、ホテルアゴーラ大阪守口で開催、24年度の役員人事と活動方針を審議した。

この日は、参与である守口市議会議員の澤井良一・服部浩之両氏のほか、常任相談役の今久保喜司・宮本隆次両氏も出席。また今回、新たに幹事に迎えた霞川良彰(昭47)、村田有司(昭56)、中田孝(昭59)、脇田和彦(昭63)の4氏ほか合わせて30人の役員・幹事が出席した。

守口支部の会則では、正副支部長、幹事長、会計監査は総会で選出されるが、副幹事長・幹事・会計は正副支部長と幹事長が協議して選考し、支部長が委嘱することと規定されている。そこで、副幹事長に伊勢重治(新)、村橋健(再)、城洗造(再)、坂井保博(新)、渡辺安彦(新)の5氏を、会計には北町収氏(新)を選び、そのほか15人の幹事を委嘱し、この日がその初顔



合わせの会合となった。

審議案件は事業部担当の年間のゴルフ大会、麻雀大会、ボウリング大会、バスツアー等と各出席者の紹介の発表があり、その後、料理に舌鼓をうち、アルコールで喉を潤し、お互いにテーブルを行き来しながら、情報の交換と親交を深めた。

(副支部長 山本護
篠原勝〓06-6998-5115)

有志で河内音頭まつりへ 注目浴びた支部の法被

9月2日、第35回八尾河内音頭まつりが開催され、八尾支部(中尾達夫支部長)から、支部長及び鍛冶屋利春幹事、植田尚志幹事が有志として参加した。

今年は市内のメインストーリーから久宝寺緑地の陸上競技場

に会場を移して行われたため、支部として種々条件が整わず不参加を決定し様子を見守る事となった。

様子を見るため3人は一般市民連のチームに入り、「関西大学校友会」、「八尾支部」などと染め抜いた法被を着用したが、これは会場でも注目を浴びた。田中誠太八尾市長（近畿大学校友会副会長）も気さくに記念撮影に応じて下さった。この様子はフェイスブックに投稿し他支部校友から好評を得た。

本番は陸上競技場のグラウンド400mを1周する。スタート時点で、盛んに手を振って戴いているブースがあった。河内音頭のテレビ解説者の松井幸一校友であった。

来賓席からは校友の谷畑孝衆議院議員、長野昌海元八尾市議会議長、沢勲西淀川支部長が手を振って3人を応援して下さった。また最終ゲートでは、



小山登八尾市役所関大会長が拍手で労をねぎらってくれた。まさに関大ファミリーであり、「草の葉の校章」の威光の大きさを

55周年記念総会に90人が出席 クレアーズや林家染太さん出演

大阪中央支部（伊藤晃充支部長）では、9月29日にシティプラザ大阪で支部創立55周年記念総会を開催し、校友会本部、近隣支部からの来賓も含め、90人の校友の出席が得られた。

第1部総会は、石川幹事長の司会で、八田校友のリードによる学歌斉唱、物故者への黙祷の後、伊藤支部長の挨拶と続いた。古川校友会副会長から祝辞を頂いた後、議事に入りすべて承認された。

第2部懇親会は、西口財務部長の司会で現役のチアリーディ



体感した平日であった。

（支部長 中尾達夫
中尾達夫 072-998-3526）

ングサークル「クレアーズ」による華やかな演舞の後、大谷校友副会長の音頭で乾杯。校友落語家の林家染太による賑やかな小噺と三味線。初参加の校友が舞台上で挨拶をする頃には、各テーブルも大いに盛り上がりつつあった。

その後、豪華景品満載のお楽しみ抽選会では、クレアーズの皆さんに大いに協力頂いた。まさに宴もたけなわの頃、応援団OB千成会の奥田氏の口上で、全員が肩を組んで追遙歌の大合唱。数内副支部長の閉会の辞、進藤副支部長の音頭による大阪めで氣勢をあげた後、全員で記念撮影をして、お開きとなった。

（広報 矢野彦
伊藤晃充 0743-71-2285）

大地震から命を守るには 副支部長の松峯氏が講演

阿倍野支部（松田充弘支部長）は、24年度総会を9月8日、ホテル日航大阪で開催した。古川好男校友副会長をは

じめ、14人の来賓を含めて31人が参加。

九之池第一副支部長の司会による第1部総会では、住吉支部と合同で行われた「夕涼みビアガーデン」などの事業報告と会計報告を行った。

第2部では、松峯哲也副支部長による「大地震に備えて」耐震診断と補強工事の実例」の講演。一級建築士でもある松峯氏は、巨大地震対策を検討する国の作業部会のトップ（主査）を務める関西大の河田恵昭教授が発表した南海トラフの被害者数を例に「大阪は古い木造住宅が密集して建っているうえに、もとの河内湾であった辺りは地盤がゆるい」と説明。そのうえで「100年とも150年とも言われる地震周期に備えて、自分や家族の命や身を守るには、耐震診断を行い、耐震補強工事



を行う必要がある」と話した。

第3部の懇親会では、住吉支部の小林洋司支部長の乾杯の後、ホテル31階の「カトレア」の間より、地上100mのすばらしい眺望の中、中華料理を酒肴に歓談。東住吉支部の高一弘副支部長のリードによる追遙歌で、幕を閉じた。

（副幹事長 田中一範
松田商事 06-6622-5580）

40余人がテーブルで にこやかに談笑

10月13日、西淀川支部（沢勲支部長）は梅田のホテルグランヴィア大阪で、古川好男校友副会長ほか多くの来賓の出席を頂き、24年度の総会・懇親会を開催した。

物故者及び未だ傷癒えぬ東日本大震災の犠牲者の方々へ黙祷を捧げた後、総会を開催。沢支部長の挨拶の後、綿密に打ち合わせを重ねた議案も全て滞りなく了承頂き、西山幹事長の支部活動にかける思いと総括で総会を終了。

続いて全員で学歌を斉唱し、六埜副支部長の乾杯で懇親会を開宴した。古川好男副会長から母校の現状と校友会のこれからの展望についてお話を頂戴し、総勢40人余の出席頂いた校友各位は、おのおのテーブルでこ



やかな談笑を繰り広げた。

途中、岩見星光府会議員、荒木幹男市会議員の非常に興味深い「こだけの話」を頂戴し、全員深く頷く光景も…。2時間という時間もあったという間に過ぎ、長谷部副支部長の閉会挨拶をもつて予定は全て終了、逍遙歌を力強く唱い上げ閉会となった。

(副幹事長 河野賢治
(西山正明 〓 06-6474-8587)

若手会員が奮闘協力 風船や古本が人気呼ぶ

夜半の雨も上がり晴天。第38回此花区民祭りが、西九条の大グラウンドで開催された。

区民祭りには、8年前から毎年参加している。参加団体は70団体。区役所、警察などの公共機関をはじめ、NPOなどの公益団体、商店会や民間企業も参加して、大学校友会は関西大



学校友会此花支部(平岡昭雄支部長)のみである。支部会員の熱き思いと努力により今では校友会此花支部の名は浸透した。

毎年ブースに支部旗を掲げ、本部から提供された一中から大学までの学校案内を置き、関西大学案内と学歌・応援歌・逍遙歌・賛歌などのテープを最高音で流す。一方、此花支部と印刷した風船をガスで膨らまし来場者に配布し、会員持参りの古本を並べ来場者に無料で配布している。

風船は子供たちに人気で開会前から行列が出来る。高学年や大人たちには古本が人気を呼んでいる。「流石、大学出の皆さんですな。アカデミックでやる事が違いますな」とお褒めの言葉をいただくことしきり。

ブース内にはひっきりなしに

来場者がある。用意した冷たい飲み物で喉を潤し、此花区活性化の話が飛び出す。他大学出身の方も関大校友会素晴らしい、羨ましいとの声がかかる。

今年も先輩、同輩、後輩10数人が参加して、和気藹々のうちに祭り参加の一日が終わった。特に、今年は若手会員の2人が奮闘協力してくれたのはありがたかった。若手がどんどん入会してくれることを期待し、また入会したい雰囲気を作り出すことが我々の役目だと肝に銘じた次第である。

(支部長 平岡昭雄・40学造
(山口土建 山口升啓 〓 06-6461-1049)

<http://www.kandai-kono-hanar.net/>

都島・鶴見2支部食事を ピンゴやクイズも楽しむ

10月10日、都島(香西安勝支部長)・鶴見(迫匡支部長)2支部交流食事を都島区のかこの屋で開催した。10人のメンバーで、まず腹こしらえから。

来年度の2支部総会の細かい打ち合わせは来年2月2日にと、これが決まればもう安心。交流会の後半、お楽しみピンゴゲームへ。景品は「コシヒカリ5キロ」から「サツマイモ5本」まで。次は、哲学者氏の難問クイズ。さすが難しい。「こん



なん考えてはる人の頭の中は、ものすごく複雑で高等数学の数式のようにってはるに違いない」と、尊敬してしまった。

次回を楽しみに、秋の小雨の中を別れがたく、送り送られつつ散会した。

(鶴見支部長 迫 匡
(都島支部・香西安勝 〓 06-7652-9703)
(鶴見支部・迫 匡 〓 06-67-3455)

校友会は温かい人の輪 支部校友交流会を承認

8月22日に鶴見支部(迫匡支部長)役員会が「ふうふや鶴見店」でもたれ、新役員体制がスタートした。特に実働隊としてJMSK(ジェムスケ)が働き出した様子を報告。

今後の方針として、役員会とは別に仮称だが「支部校友交流会」を発足させて、気軽に支部校友OB・OG・現役の交流の

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町 島本町 TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくってはならない水——
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

ホームページは [タブチ](#) [検索](#)

給水用具の設計・開発・製造 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
株式会社 タブチ TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210



初の明石海峡セーリング 海産物と明石焼きで満足

こんな体験できるんですか？
できたんです、明石海峡ヨット
セーリング。

わが住吉支部（小林洋司支部
長と親交の深い葦文会中瀬会
長ご紹介の、明石ヨットクラブ
所属の小山校友のご厚意で夢が
かなった。

場を考えていきたいと提案。承
認されたので今後この案を深め
ていきたい。
支部校友の人的交流と眠れる
力を何らかの場を設けて、支部
活性化に役立てていただきたい
願っての事である。例えば、仕
事で使っている「資格・免許、
「経験や長年の知恵」をこの場
にも活用して、校友の為に気軽
に相談に乗っていただきたい
考えている。

校友会というのは単なる集団
ではなく、関西大学という核を
中心にした、年代や学部、クラ
ブ、そして卒業後の仕事を超え
た温かい人の輪なのである。そ
の集いの中で私たちは知らず知
らずに学恩にあずかり、学生時
代には考えられなかった美しい
友情あふれる支部活動に身を置
かせてもらっているのである。

（支部長 迫 匡）

（迫 匡）06—6961—73
63）



9月9日朝10時、明石ヨット
ハーバー出帆。大きな帆を天空
に掲げ波上を滑るヨット。厳し
い残暑にもかかわらず海上の爽
やかな風とヨットならではの激
しい揺れに振り落とされないう
うにと踏ん張りながら浴びる潮
しぶき。初めての体験にキャー
キャーワーワーなんと賑やかな
こと。1時半、淡路島翼港着。
早速、待望のウエスティンホテ
ルのランチバイキングへ。予算
上アルコールは三杯まで。実に
美味しいひと時だった。

帰りは、風も吹き順風満帆。
無事に明石に帰港。有名所、魚
の棚に寄り海産物のお買い物に
明石焼きと満足満腹の一日だっ
た。

関大の司法試験の現状で講演 合格者祝賀会を大学と共催

9月28日、関大法曹会（小松
陽一郎幹事長・51M法）は、大
阪新阪急ホテルで定時総会を開
催した。決算承認とともに、新
64期幹事として、田中章弘、橋
本薫、松本俊明の各会員が新た
に選任された。また、司法試験
合格者らのための事前研修の実
施や、関西大学のHP上で同会
会員名簿の公開を開始したこと
等が報告された。

また、近年の本学法科大学院
における司法試験合格者数の減
少等を受け、法人評議員会議長
である児玉憲夫会員により、
「関西大学法科大学院の現状と
喫緊の課題」と題した講演が行
われた。

講演では、近年の本学法科大
学院の入学者の減少、司法試験
合格者の低迷、さらには9月に
発表された司法試験の合格者数
が全国19位（22人）、合格率が
全国46位（11・96％）という現
状に対し、既に昨年から学長の
もとで改革推進委員会が立ち上
げられ、また、本年8月には常
任理事会のもとに法科大学院再
生会議が発足され、改革に着手
されていると報告された。

その後の意見交換会では、前
川清成会員（内閣府副大臣、参
議院議員）から、民主党法曹養
成制度検討PT事務局長として
他大学法科大学院を視察した観
点から、実務家教員の増員が急
務であると意見を述べられるな
ど、会員間でも忌憚のない意見
交換が行われた。

定時総会に引き続き、大学と

の共催による本年度司法試験合
格者祝賀会が開催され、法科大
学院出身合格者、本学出身で他
大学法科大学院出身者あわせて
29人の合格者を含む総勢115
人が出席した。

祝賀会の冒頭、上原洋允理事
長は、同じ法曹として合格者に
対し自己研鑽を促された。楠見
晴重学長は、校友諸先輩の社会
での活躍を例に挙げ、法曹とし
てすばらしい活躍をすることに
大いなる期待を述べられ、寺内
俊太郎校友会会長からは、合格者
らの努力を讃える温かい祝辞を
いただいた。

吉田栄司法学部長の乾杯の発
声で懇親会がスタートし、合格
者と先輩会員らとの懇親を深め
る和やかなひとときがもたれた。

また、学長及び校友会会長から
合格者へ記念品贈呈が行われ、
その後、栗原宏武名誉教授、法
科大学院特別顧問教授である滝
井繁男元最高裁判事等たくさん
の方々から、合格者に対する温
かいお祝いのスピーチや激励の
言葉などが相次いだ。

（副幹事長 小寺陽平）
（尾島法律事務所）06—636
3—2870）

1月26日に総会開催 ゴルフなど4部を新設

物流関大会（福田泰久会長）
は10月4日、ホテルグランヴィ



後、各部が趣旨に沿った企画で、活動を行っていくことを申し合わせた。

役員会の冒頭、福田会長は挨拶の中で、中国、東南アジア、欧州など海外の諸情勢について、センコーの海外展開と併せて説明を行った。

役員会終了後は懇親会が行われ、出席役員それぞれが和やかに歓談し、より親交を深めた。

物流関連大会は物流関連事業に携わる関西大学OBで組織されており、現在の会員数は116人。

(大和運送) 栗尾社長・栗尾常務 〇72-626-7235

必ず来る、復活を信じて 総会で皆の団結を確認

10月13日、大阪新阪急ホテルで応援団OB長柄会(Ⅱ部)(大谷啓二会長)の第69回総会及び懇親会が開かれた。

総会では、大谷会長が議長に就任し、議案審議が行われた。議案審議では真剣な意見交換を経て、全てを満場一致で原案どおり承認された。また、来年は節目となる第70回総会であることから記念事業等の計画も進めていきたい旨の報告があり総会が終了した。

会場を移して懇親会が開催され、大学からは今年10月に理事



を宣言するとともに、現役学生への援助を出席者全員に依頼された。

来賓を代表して池内理事長、黒田学生センター所長ならびに寺内校友会長からもお祝いの言葉を頂戴し、小坂道一体育OB・OG会長の乾杯発声により懇親会が始まった。

懇親会ではOBバンドによる演奏、現役CLAIRSの演舞、OBによるリーダー演舞で場が盛り上がった。会が最高潮に達したのは恒例の「富籤抽選会」である。今年は特にはずれ籤なしとあって追加で購入する出席者が多く、あつという間に完了してしまった。

その他、大谷会長からCLAIRS代表の3回生奥村菜摘さんに現役援助金も手渡された。あつという間に時は過ぎ去り、朝倉満長柄会顧問の中締めの後、第50代山村浩一氏のリーダーによる逍遙歌を皆で熱唱し閉会した。

閉会にあたり、高一弘長柄会副会長から「時代の要請による二部復活が必ず来ると信じており、その日のために我々は頑張っていく」との力強い挨拶があり、皆の団結を再確認しあった総会と懇親会であった。

(広報部長 奥田照夫
中村博 〇6-6705-5678)

インスペクションとは 南勝・印南社長が講演

経済人クラブ若手会不動産・建築部会(KURC)(川端康平部会長)の第9回勉強会が、8月7日にホテル阪急インタナショナルで開催された。

今回の勉強会には、(株)南勝代表取締役の印南和行氏をお招きして「一般消費者だけでなく、不動産業者が導入するインスペクションとは？」というテーマで講演を頂いた。「インスペクション」を知るうえで必要な6つのポイントを分かり易く丁寧で、かつ簡潔なお話を参加者全員が聞くことが出来た。

今後、市場規模が大きくなると考えられる中古住宅流通の分野だが、不動産業者にとっては他社との差別化をすることが難しいエンドユーザー向け仲介に



付加価値を与えることができ、依然厳しい状況下におかれてい
る不動産業界にとってもビジネス
モデルとして注目すべきテー
マだけに、参加者全員が講演に
真剣に聞き入り、講演終了後も
積極的な質問が飛び交った。

第2部の懇親会は、寺脇茂氏
(46工、(株) 幸せ不動産代表取
締役) の乾杯の音頭で始まっ
た。懇親会には講師の印南社長
にも出席頂いて、勉強会参加者
と交流を深めた。

(問合先) 事務局…不動産・建
築部会 北原宏修(平7工)
E-mail:kitahara@rinowajp

URL:「関西大学経済人クラ
ブ」を検索後、「若手会」をご
覧ください。

(幹事) 西堀泰伸・平11経
(校友会事務局) 06-6368
-0041

シエア70%の業績を講演 栗原社長が第2回例会で

8月29日、大阪新阪急ホテル
で年輪関大会(朝倉満会長) 第
2回例会を開催した。

今回は、特に喜ばしい事が2
つあり、1つは当会会員の大阪
シーリング印刷(株) 松口社長
が大学に奨学金の申込みをさ
れ、一躍年輪関大会の存在がク
ロズアップされた事。2つ目
は、当会顧問であり会員でもあ
る寺内校友会会長が博士号を取ら



れた事である。全員で祝意を表
した。

今回は、会員の栗原製作所
(株) 栗原照次郎社長(35経)
が、鶏卵パック等で全国シエア
70%を誇る業績に至った経緯と
独特な人生観を講演した。

当会のメンバーは、機関紙

「関大」産学サークルのコーナ
ーに毎号記載されており、執筆者
の田中久仁雄プロデューサーの当
会に対する今後の提案、そして
先端科学技術推進機構の松井由
樹氏から、当会の会員と大学側
の取り組み及び大学教授との研
究推進状況等の報告を聞いた。

オプザーバーの一軸浩幸前校
友会会長の乾杯の発声で懇親会
に入り、一社一社から改めて会
社の現況と取扱い製品の説明が
あった。

財務内容が抜群であるという特
異な組織形態の会である。

(会長 朝倉 満)

高橋氏褒章受章祝賀の会 司法書士関大会等創設者

今春、司法書士関大会(中村
博会長)の高橋一夫相談役が57
年にわたる司法書士界における
長年の功績が認められ黄綬褒章
を受章された。

高橋相談役は、司法書士関大
会、大阪青年司法書士会、全国
青年司法書士協議会を創設さ
れ、その後、大阪司法書士会副
会長他数々の役職を歴任され
た。

また、校友会代議員、常議
員、広報部長、宝塚支部長を歴
任し、母校、校友会の発展に尽
力されてこられた。

その労のねぎらいと、この受
章に至った喜びを多くの方々と
分かち合いたく、司法書士関大
会ら4団体が発起人となって
「高橋一夫氏黄綬褒章受章記念
祝賀会」が、10月8日に大阪キ
ヤッスルホテルで開催され、寺
内校友会会長並びに大学関係者
をはじめ、司法書士会ほか各方
面から162人が参集、心から
祝福した。

司法書士関大会の中村会長の
開会の辞で始まり、全国青年司
法書士協議会・野崎史生会長の
の発起人代表挨拶の後、日本司



法書士連合会・井上利博副会
長、大阪司法書士会・山内鉄
夫会長、中野寛成衆議院議員、
校友会・寺内俊太郎会長が祝辞
を述べた。そして司法書士関大
会・塩田貴美代名誉会長からご
夫妻に花束の贈呈があり、高橋
相談役が謝辞に立った。

高橋相談役は、司法書士関大
会、大阪青年司法書士会、全国
青年司法書士協議会を結成し
た経緯を説明し、「両親、司法
書士仲間等多くの人に支えられ
この日を迎えたことに感謝いた
します。これからも司法書士そ
して関大のお役に立てるように
日々研鑽して元気よく頑張っ
ていきたい」とお礼の言葉を述べ
た。

近江已記夫元科学技術庁長
官の発声により乾杯、祝宴に入
った。続いて祝電披露の後、高
橋相談役との交流のある方々が

お祝いの言葉を述べ、アトラク
ションとして校友のジャズボー
カリスト五十嵐あきこさんのす
ばらしい歌声にしばし聞き入っ
た。

大いに盛り上がる中、深田壯
大阪司法書士会東支部長の中締
めのあと、河田真一大阪青年司
法書士会会長の閉会の辞でお開
きとなった。(幹事長 辻井宏之
(中村司法書士事務所気付) 06
-6705-5678)

93歳まで継続を再確認 例年通りに定例会開催

今年も例年通り神戸三九会定
例会を9月3日、ニューミューン
ヘン神戸大使館で開催。しか
し、開会を前に会員の小松原正
直君逝去の訃報が入り、一同黙
祷にて会員を偲び、開会となっ
た。



小松原君は、在学中は体育会ワンダーフォーゲル部で活躍され、卒業後は家業の3代目として神戸三宮の一等地で事業を継承、阪神淡路大震災の時には商店街理事長としてその復興に尽力された。

定例会は、樋口東光君の司会進行で順次会員が近況を報告。何れも夫婦の健康や孫に関する話が多かったが、まだまだ元気でゴルフに興ずる会員も。何としてでも会の目標である93歳まで継続することを再確認し、学歌を斉唱して閉会となった。

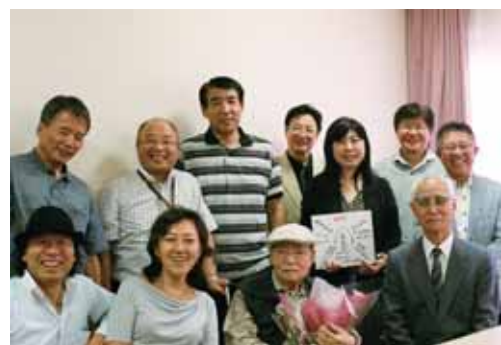
(石山康弘)

恩師は91歳！超卒寿 今後も再会チャンス作る

東光会同窓会2012を9月22日に開催した。恩師経済学部東井正美名誉教授は、御年91歳！矍鑠としてお元気である。

恩師は91歳の超卒寿、ゼミ2期生の安部先輩は超喜寿、我々若手が超還暦組、もし関大ギネスがあれば、恩師同席のゼミOB同窓会の永年開催記録で認定されるかもしれない。まさに同窓会40年の歴史は生きてきた証し。恩師がご健在だからできる賜物、ある人が言っていた。「人間はゆっくり成熟するのがいい」。まさに出席者がお互い成熟度を確認した会であった。

富田会長ご欠席で残念だった



が、山野副会長やコロラド大学卒で癌専門医でもある恩師のご息女的美保さんも米国からご来訪いただき、関西在住者以外にも東京や島根から昭和49年卒同期生7人が、比叡山の麓は琵琶湖の堅田に集結した。

スイスの心理学者のユングも言っている。人が幸福である為の条件のひとつに、「人間関係が豊かであること」と。これからも再会チャンスを作り、次回はギネス世界一？を目指そうと、お互い誓いを新たにしたい。超・元気で有意義な同窓会だった。

(濱野文三・49卒)

廣田先生米寿の会盛大に 記念品に黒檀のステッキ

恩師廣田君美先生は、今年めでたく米寿をお迎えになった。指導を受けた門下生は500人を超え、文学部・社会学部・同

大学院時代のゼミ生に呼びかけ、お祝いの会を8月26日、ホテルグランヴィア京都に、約150人の参加者をもって無事盛大に終えることができた。

当日は、足下が幾分弱くなられた先生もお元氣な姿を見せて下さり、「廣田節」を披露しながら、20年間にわたって書き続けてこられた日記、年賀状の年頭挨拶をまとめた本を出版されたいきさつを話された。講義中でもさまざまな人生訓をお教えいただいたが、この御本に目を通すと、またウンウンなるほどと、また感動させられる内容が沢山盛り込まれている。

会そのものは特別なアトラクションはなくとも、終始和やかに進み、最後に「門下生が先生の心の支えになります」という気持ちを含めて、先生にステッ



キ(黒檀製)を記念品としてお贈りし、2年後の卒寿の時にまたお会いしましょうと誓い、先生から一人ずつ御本をいただいで散会となった。(幹事 山野晃)

泉仙大慈院で鉄鉢料理 世界遺産仁和寺へも

昭和51年卒業の松原・鯉江合同ゼミ会幹事会が京都一日旅行を開催した。日ごろのメンバーの行いがよいためか、9月1日は涼風が心地よい旅行日和。

京都での会合では、いつも頼りになる鯉江ゼミの中村さんの肝いりで、お昼に泉仙大慈院店で鉄鉢料理を頂戴した後、真言宗総本山であり世界遺産にも登録されている仁和寺へ。普段は入れない(立ち入り禁止の柵の中)金堂内部やお茶室を見学させていただいた。



夜には、本通りから一筋入った町屋ビストロ。親のこと、子供のこと、仕事のこと、日ごろの悩み。同期ならではの気取らない会話。楽しい一日はあっという間に過ぎ、また、会う日を楽しみに京都を後にした。

(藤井喜代子・51経)

ゴルフだより

5支部49人で関大一色 広島支部が団体優勝

備後支部(濱田宏志支部長)がホストとなり9月15日、中国支部対抗親善ゴルフ大会が福山市の松永カントリークラブで開催された。山口千里会、広島支部、備後支部、岡山支部、香川支部の5支部49人が参加し、関大一色に染まる楽しい一日と



なった。

団体戦では、広島支部が優勝、僅差で準優勝に香川支部、3位備後支部、4位岡山支部、5位山口千里会だった。個人戦では、備後支部の小迫良治（38経）が優勝、準優勝は谷花紀彦（広島支部）で、ベスグロ74も同氏が獲得した。

広島支部の並川壽男氏は、現在参加しているのは瀬戸内5支部だが、これからは中四国の全支部が参加していただけるよう働きかけていきたい、と団体優勝の挨拶をされた。

来年、山口千里会のお世話で再会できることを楽しみにして散会した。（備後支部 加納久徳（福山包装・畦崎雅則）0849-43-1741）

13支部48人で親睦コンペ 松茸など豪華な参加賞

9月5日、大阪市内支部連合会（田中義信会長 第5回親睦ゴルフコンペが、篠山市ジャパンビレッジゴルフ倶楽部で、寺内校友会長と石井副会長の参加を頂き、大阪市内13支部の代表選手48人参加で賑やかに開催された。

クラブハウス内での表彰式では、まず前回個人優勝者の良原輝雄氏にレプリカ（前回団体優勝は城東支部）が、続いて団体優勝の旭支部にクリスタルカップ



プ、個人優勝の西慶修氏にトロフィが贈呈された。

また、コンペ景品にはお米・メロン・ブドウの王様巨峰・高級ハム・商品券等々豪華な品々が用意され、発表の度に歓声が上がった。参加賞には松茸とオシヤレな黒豆マドレーヌも手渡され、成績抜きで全員が大満足の一日を過ごせた。

次回は25年9月5日、担当幹事支部は旭・福島と決定し、再会と各支部校友の新たな参加も呼びかけることになった。成績は次の通り。

【団体】1位旭（西・首藤）、2位城東（大川・脇田）、3位東淀川（田中・浅田）
【個人】1位西慶修（旭）、2位首藤俊二（旭）、3位大川征人（城東）
（東淀川支部 田中康二）

愛宕原で137人が熱戦 野球部が団体優勝

体育OB・OG会（小坂道一会長）の24年度ゴルフ大会が、10月10日に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

今年も快晴で、法人から上原相談役、校友会から寺内会長をお迎えし、友好団体のスポーツマンクラブ、応援団OB千成会（I部）、応援団OB長柄会（II部）の皆さんと、各部OB・OGが熱戦を繰り広げた。

プレー終了後、表彰式が行われ、馬淵長柄会幹事長の指揮で学歌を斉唱。小坂会長の挨拶、来賓を代表して上原相談役、寺内校友会長の挨拶を頂いた。続いて成績発表が行われ、団体戦は野球部が、個人戦はホッケー部の金村時範氏が優勝を飾った。なお金村氏は所用のため帰られトロフィを受取ったのは友人の少林寺拳法部の中山大氏だ



った。団体戦は2位ホッケー部、3位は空手道部、個人戦2位はゴルフ部の近藤康雄氏、3位は野球部の瀬戸口臣範氏だった。

また、姫路の日本触媒での事故で、28歳の若さで亡くなられた拳法部OBの山本永浩消防士のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げた。海蔵寺会長代行の閉会の辞、大江長柄会副会長のリードで追送歌を合唱し、お開きとなった。

（西田幸弘）
（近藤正昭）06-6935-5545

大先輩86歳のパワー頂く 小倉カントリーでコンペ

10月6日、晴天のもと第7回和歌山支部（田中昭彦支部長）ゴルフコンペが開催された。コ



ースは、いつもお世話になって

いる中村会員の小倉カントリー倶楽部。最高齢86歳の山本好男大先輩（36学法）のパワーを頂きながら無事に終了した。

優勝は東内俊彦氏（57学法）、2位中村吉宏氏（60学商）、3位林博行氏（46学経）だった。

30回記念コンペに33人 HPにも様子を掲載

平成10年に第1回コンペが旭国際宝塚ゴルフ倶楽部で行われて以降、今回で第30回を迎えた川西支部（井上能一支部長）支部長杯記念ゴルフコンペが、10月18日に大宝塚ゴルフクラブで池田・箕面支部より7人の参加と、初参加者4人を含む33人で賑やかに開催された。



前夜からの雨は止んだが、この時期にしては珍しく風と寒さというコンディションの下、全員真剣に最後までプレーした。

プレー終了後、お風呂で身体を温め、コンペルームで表彰式と懇親会に移り、井上支部長の挨拶並びに桜井会長からゴルフ愛好会設立時（第1回コンペ）から現在までの経緯の説明があった。

優勝は久しぶりに参加された浅野剛氏、準優勝は池田支部の水本武氏、3位は箕面支部の池永稔氏という結果だった。

なお、今回の様子は川西支部のホームページにも掲載されている。ゴルフ代表幹事 山下清晃（荒木敏雄）072-758-1787

特大トロフィ取り切り戦 奈良ロイヤルで18人参加

富田林支部（杉多弘至支部長）ゴルフ部会では9月28日、第5回親睦ゴルフ大会を奈良ロイヤルゴルフクラブで開催、2組の同伴を含め18人が参加した。

杉多支部長寄贈の特大優勝トロフィは、今回までの優勝者間で次回の大会に併せて取り切り戦となるだけに当初から熱戦が期待されていた。

今回も雲ひとつない秋空のもと5組でスタート。本大会も5回目とあって、お互いに顔馴染



みとなり、戦いの中にも和やかなムードでラウンド。

18ホール、熱戦の結果、北野登己郎氏（平1社）が見事、初優勝。「優勝なんて思ってもいなかった。ハンディにも恵まれ、ラッキーもあったの優勝。でも嬉しい」と当ゴルフ部会最年少の爽やかな笑顔に一同、大きな祝福の拍手。

準優勝は、いつも夫人同伴参加の仲林秀晃氏（37経）で好スコア。またベスグロは前回優勝の谷口昇氏（33法）の86で3位入賞。

現在、当ゴルフ部会のメンバーは29人。次回開催は来春3月下旬の予定。（幹事 筒井孝二）（野島努）072-23-3190

茨木カンツリーで開催 和気藹々の楽しいコンペ

経済人クラブ（西村太一会

長 秋のゴルフコンペが、9月12日に関西の名門コース茨木カンツリー倶楽部で開催された。

初秋にふさわしい雲ひとつ無い穏やかな天候に恵まれ、最高の天候とコースコンディションの中、和気藹々の雰囲気の中で楽しいコンペとなった。今回は初参加2人、女性2人、韓国からの飛び入りゲスト1人を含む18人がプレーと親睦を深めた。

表彰式は、ゴルフ部会の大倉幾三郎会長と志水利達幹事の進行で行われ、今回の優勝者は、当コースのメンバーで幹事でもある志水利達氏（ベスグロ）。2位は西野修氏、3位は稲田昌三氏であった。

次回は、3月27日に茨木カンツリー倶楽部にて開催予定。大



勢の親しい校友を誘ってのエントリーをお待ちします。

（瀬 弘和・平4）



澤井繁男（文学部教授）著 『イルミネーション』

風濤社 刊
定価1800円＋税



9月20日に2冊の本を刊行した。1冊は第8創作集『イルミネーション』。もう1冊は翻訳研究書、W・J・バウスマ著『ルネサンスの秋』（みすず書房、6000円）。今回は創作集（「訣れ」が主題）に、3年前に卒業したゼミ生（原田愛子さん）から感想が届いているので、それを転載してみた。

『イルミネーション』―表

（校友会事務局）06-6368-0041

紙の写真が象徴的です。私は物語を読んでいると、この話は、この作者は何色だと感じるかがあるのですが、先生の小説は澄みきった透明と見え見える青色を想像します。「虹」恋人が見舞いにきたチャンスを掴もうとする由木子の気持ちと院生の〈私〉との温度差。これが男女の違いのかと思う反面、両者の感情に共感する自分がいました。「檸檬色の空」夢中になって読みました。稔の思考と行動の危うさから目が離せませんでした。「微光の朝」登場人物それぞれの顔、考え、体面があり、きつかけさえあれば露呈する剥き出しの感情が、生々しく際立つようでした。「イルミネーション」康人の冷静な内面が怖いと感じました。刻一刻と変化していく状況を突き放したように見ているのに、口では妻を慰める優しい残酷さ。「坂道」守の兄への応対と、そのたびに本人のうちに発する非難。結末の呼びかけて追いつけない姿が印象的でした。どの話もそれぞれに魅力があり、読み終え

るのがもったいなかったです。
「イルミネーション」に最も心
揺さぶられました」。

松見正宣（昭40学法） 著

『幕末最強の剣士』

「突き進」

文芸社 刊

定価600円＋税

主人公は、筑後柳河藩（現柳川市）の剣客・大石進（1797～1863）。

藩の槍剣術師範の家に生まれた進は、少年時代、正月の藩主御前試合で不覚をとる。これを恥じた進は、蔵に閉じ



こもること3年。長竹刀の「左片手突き」という独自の必殺技を編み出す。18歳で身の丈6尺（180cm）を超える偉丈夫の進は、必殺の突き技のみならず、剣は愛州陰流、槍は大島流の免許皆伝に達していた。その後、大石神影流を興し、瞬く間に九州では敵なしの剣客となった。

藩主から「江戸出府の上、

校友短信

◆摂津市長に現職の森山一正氏が3選 9月16日に投票された摂津市長選挙で、現職の森山一正氏（もりやま・かずまさ）昭42学経、無所属が対立候補を大差で破り、3選を果たした。



森山氏は、昭和44年に26歳で摂津市議会議員

に初当選。その後大阪府議会議員、府議会議長を務め、平

成16年に摂津市長選に立候補、初当選を果たし、20年に再選されていた。68歳。

◆大阪府公安委員長に栗原宏武氏が再任 10月21日付。大阪府公安委員会は、10月20日で任期が満了した栗原宏武氏（くりはら・ひろむ）昭33一

高・37学法・39M法を21付で再任した。委員の互選で選任されたもので、今回で8回目。栗原氏は、大阪家裁所長などを歴任後、関西大学法科大学院の教授を務め、現在は名誉教授。73歳。

名だたる剣客と試合をし、尚武の藩・柳河の名を上げよ」との命が下り、幕末の江戸で三大道場と謳われた北辰一刀流の千葉周作、鏡新明智流の桃井春蔵、神道無念流の斎藤弥九郎に試合を挑んだ。結果は、進の勝ちか互角。更に後の世に剣聖と称えられた男谷精一郎との試合での勝利は、江戸での進の人氣を不動のものにし、老中・水野越前守忠邦から羽織、刀剣を賜る栄に浴している。

その後、諸国から訪れ、指南を請う多くの門人を育て、66歳で天寿を全うした。

この作品の主題は、旧来の陋習を打破して新たな剣技を編み出した進の進取の氣性を描きながら、制した相手からも多くのことを学んだ進の謙虚さを称えていることだ。

5年前にハードカバー本で出版されたものが、文庫本化されて10月に再出版された。著者は、「この小説の登場人物は柳川弁を使い、柳川地方の郷土料理もふんだんに紹介している。地方の良さを見直し、文庫本が大阪からの観光客が増えるツールになれば嬉しい」とのこと。

（編集部）

校友トピックス

来年の卓上曆3種類 写真作家の内藤氏発表

長年、日本の風景や山野草を撮り続け、詩情性豊かな卓上カレンダーとして発表している写真作家の内藤稜児氏（昭29学法）が、平成25年の作品3種類を発表した。

例年は、風景を中心とした横長の12枚組（25年の題は『瑞翠の恵』と、ほぼ正方形の日本の山野草12枚組（同『山野の草称』）の2種類だが、25年カレンダーでは日本人にとって最も身近な野鳥・雀の愛らしい姿を追った横長12枚組の『愛雀季』を新たに発表した。題字はいずれも当麻寺・宗胤院住職の宮下寛昇氏（昭42学法）。

『瑞翠の恵』の表紙写真は、中腹まで雪に覆われた霊峰富士が朝焼けで赤く染まり、その向こうに、今沈みゆく満月（十六夜月）が浮かぶ冬の夜明け前の一瞬を捉えた「赤暁往月」。ほか、先程までの雨に濡れた蔓珠沙華の真っ赤な花の一群の向こうに雨に洗われた深緑の針葉樹林、さらに山から昇る雲をローアングルで写した「秋雨上がる（9月）」など。

『山野の草称』は、黄色い



ハート形の5弁の花が綺麗な「ヒメアカネキンバイ」の表紙写真ほか、どれも「自然界に存在する小さな生命・山野草達のこと、大災害の犠牲者を偲び悲しみつつも、心の隅で思い出されてならない」という内藤氏の思いがアングルから伝わってくる。

「最も身近な野鳥ですが、案外用心深く近づけず、苦労しました」という『愛雀季』。作製の動機である「風土に溶け込み、民衆に愛されて、時代を超えて、日本の文化に浸透」の文字を入れた1枚を加え、表紙とで計14枚組となっている。野草や野花と雀の構図が多いが、それが季節感と自然に生きる雀の姿をより際立たせている。

贈答用として会社名を入れ
たり、会合の記念品とするなど
多数の場合は、光稜テクノア
ート主宰の内藤氏（電話09
0-1074-5435、F
AX 06-4255-911
2）まで。

楽譜・CDセット寄贈の被災地校から お礼の手紙

福島県の小中学校全校に、フルートとギター二重奏の楽譜付CDを寄贈したギター部OBの品川正博さん（昭47学工化）。8月28日に750セット（ダンボール箱15個分）を発送したが、受け取った学校からは早速、「東日本大震災から1年5カ月が過ぎましたが、未だ不安な日々が続く中、心温まる贈り物をいただき、子ども、教職員ともに元気づけられました」（群馬県平田村立小平小学校長）など、お礼の手紙が届いている。

楽譜・CDセットは、公開録音の会場費や送料など経費の一部に当てるため実費（1365円）で販売している。取り扱いには、これまでのジュンク堂の池袋本店（東京）、大阪本店（堂島）、京都店と京都市のJUGIA三条本店に加え、このほど紀伊国屋梅田本店でも取り扱っている。

問い合わせは品川さん（090-9051-5868）まで。

パリンピック5千Mで和田伸也さんが銅メダル

9月7日、ロンドンパリンピックで行われた陸上男子5000M（視覚障害）で、校友の和田伸也さん（平12学社・14M社）が初出場で銅メダルを獲得した。

和田さんは、伴走者の会社員・中田崇志さんとの二人三脚で力走、最終コーナー手前でスパイクし、ゴール前でケニア選手をかわし15分55秒26の日本新でゴールした。

高校2年で発病、20歳で全盲になった和田さんは、在学中は社会福祉学を学び、大学院修了後、財団法人大阪府視覚障害者福祉協会に就職。平成18年から陸上競技を始め、20年には福知山マラソンで3時間を切るタイムを出すなど、頭角を現していた。

お悔み申し上げます

（敬称略）

田名網佑司（たなみ ゆうじ）昭36一高・40学文。平成23年10月28日死去。大阪木材相互市場。68歳。宝塚市。

西山義人（にしやま よしひと）昭31学経。平成24年2月16日死去。78歳。吹田市。

戸松佑也（とまつ ゆうや）平11学社。6月23日死去。35歳。大山市。森 寛（もり さとる）昭35学法。7月4日死去。88歳。宇治市。

黒田正春（くろだ まさはる）昭33学経。7月21日死去。77歳。吹田市。

松井勝美（まつい かすみ）昭26学法、生駒支部顧問、元校友会代議員。8月7日死去。86歳。生駒市。納 啓之（おさめ ひろゆき）昭18大経。8月14日死去。93歳。南あわじ市。

小林義一（こばやし ぎいち）昭32学文。8月29日死去。83歳。神戸市。

小松原正直（こまつばら まさなお）昭39学文、小松原商事代表取締役。9月2日死去。72歳。神戸市。

案野孝雄（らのく たかお）昭36学法。9月4日死去。73歳。西宮市。稲垣一男（いながき かずお）昭12関甲・15専2商・17大経、元十七会代表幹事、元校友会代議員。9月6日死去。92歳。芦屋市。

渡辺賢一（わたなべ けんいち）昭39学経、元兵庫県庁勤務。9月9日死去。70歳。神戸市。

川崎悌司（かわさき ていじ）旧姓山本、昭25学経、元守山市議会議員。9月12日死去。85歳。守山市。富山峰雄（とみやま みねお）昭31学法、元エビス科学研究所勤務、前埼玉支部支部長、元校友会代議員。9月12日死去。79歳。新座市。馬場 功（ばば いさお）昭40学法、寿功建設代表取締役会長、校友会代議員、元吹田支部監事。9月14日死去。71歳。吹田市。

山中英智（やまなか ひでとも）昭31短大2。9月14日死去。83歳。姫路市。

和天津苗（わた つなえ）昭22工専・25大経。9月18日死去。87歳。神戸市。

上野信彦（うえの のぶひこ）昭26専1商。9月19日死去。83歳。東大阪市。

廣岡英雄（ひろおか ひでお）昭16専2文・18大英、名誉教授、元文学部教授、専攻は英語学。9月21日死去。94歳。交野市。

加藤繁雄（かとう しげお）昭32学法。9月21日死去。78歳。大阪市。青山 隆（あおやま たかし）名誉教授、元文学部教授、専門は意味論・統語論。9月23日死去。65歳。吹田市。

山本永浩（やまもと ながひろ）平19学法、姫路市消防局網干消防署副士長。9月29日、日本触媒姫路製造所の爆発事故で殉職。28歳。高砂市。

高橋 昇（たかはし のぼる）昭32学文、アルテック代表取締役、元北九州支部支部長、元校友会代議員。10月4日死去。79歳。北九州市。

富田忠雄（とみた ただお）昭36学商。10月14日死去。75歳。大阪市。磯崎泰博（いそざき やすひろ）昭48学法、司法書士・磯崎泰博司法書士事務所、淡路支部会計監査・前幹事長、司法書士関大会副会長、元校友会代議員。10月19日死去。61歳。洲本市。

大江利正（おおえ としまさ）昭18専2商、元松原市議会議員。10月23日死去。90歳。松原市。

血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。
「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値」。今回やっと下げるモノが見つかりました！と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データは無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です！
関大生割引あり 一度お電話ください。

プライダル ナカノ
TEL 06-6702-8624
ホームページ
http://www.bridal-nakano.com/index.htm
●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MESA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO

関西大学出版部 刊行図書案内 (価格税込)



場所の声を聞く
—集まって住む
カタチのデザイン—
江川直樹 著 1890円
場所の声を大切にする建築デザイン
の視点



**わかりやすい
刑罰のはなし**
—死刑・懲役・罰金—
永田憲史 著 1575円
死刑の基準は？ 罰金を払わない
いとうなる？



**ドイツ古典哲学
の本質と展開**
鱒坂 真 著 3465円
カントからヘーゲルにいたるド
イツ古典哲学



**古代の中国文化
を探る**
—道教と煉丹術—
今井 弘 著 2100円
神仙思想をルーツにした煉丹術
の解説書



EUと日本学
—「あかねさす」国際交流—
藪田 貫・浜本隆志 編著 1890円
EUと日本の相互理解をめざす
新日本学論



**カンパーの
顔面角理論**
森 貴史 訳・解説 1890円
ペトルス・カンパーの顔面角理
論の全文初訳



**アメリカのドイツ
政策の史的展開**
—モーゲンソープランから
マーシャルプランへ—
河崎信樹 著 2625円
第二次大戦後アメリカのドイツ
政策の分析



**グローバル金融
危機と経済統合**
—欧州からの教訓—
高屋定美 他著 2625円
2008年以降の欧州危機を多面的
に考察する



**労働者概念の
再構成**
川口美貴 著 3990円
学説・判例等の批判的考察と法
理論の再構成



**メランコリーの
垂線**
—ホーソーとメルヴィル—
入子文子 著 3675円
アメリカ文学の光輝を放つメラ
ンコリー



**日本貿易の
発展と構造**
奥 和義 著 3360円
日本貿易の発展と構造の特質を
明らかにする



**法的強制と
人格性**
川口浩一・飯島 暢 共訳 1680円
ヤコブス刑法学の核心をなす基
礎理論の邦訳



『語録解』研究
—李氏朝鮮において中国語口
語辞典はいかに編まれたか—
玄 幸子 著 3570円
李朝編纂近代中国語口語辞典
『語録解』の研究



ブレアのイギリス
1997-2007
土倉莞爾・廣川嘉裕 監訳 3990円
ブレア期のイギリス政治を知る
ための一冊



技術の文化史
下間頼一・緒方正則 他著 3150円
揚水水車・車・巨石・巨木等の
文化の起原を解明



顔をみること
—表された顔をめぐり
美術史・文化史的断章—
蜷川順子 他著 2310円
絵画や彫刻に表された顔をめぐ
る多面的考察



**清代中国琉球
交渉史の研究**
松浦 章 著 4410円
清朝中国と琉球国との交渉史を
述べる



豊饒なる明治
井上克人 編著 3570円
明治時代の日本人としての矜持
と風格を探る



東西文化の翻訳
—「聖像画」における
中国同化のみちすじ—
内田慶市・柏木 治 編訳 3570円
文化の翻訳としての「聖像画」の
中国化



**泊園記念会創立
50周年記念論文集**
吾妻重二 編 4200円
国際シンポジウム論文集 東ア
ジアの書院・私塾研究



**大阪時事新報
記事目録**
関西大学
大阪都市遺産研究センター 編
建築と社会編 昭和 I 4200円
文芸と映画編 昭和 I 6090円
「大大阪」の社会景観や文化景観
が、大阪時事新報の建築、文芸・
映画記事から浮かび上がる



差異と共同
—「マイノリティ」
という視角—
孝忠延夫 編著 4410円
多様な差異の中での〈共同〉の可
可能性を探る



**アジアにおける
文化システムの
展開と交流**
森部 豊・橋寺知子 編著 3570円
多様なアジアを様々な視点で解
き明かす



ホームページ上からでも刊行図書をご注文できます (下記アドレス参照)

ご注文は、お近くの書店または下記まで (図書目録進呈)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162 <http://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/index.php>

(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。



結婚

35年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に関西大学校友の皆様には平成16年より「関大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

登録料

50%OFF

ブライダルコース
¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース
¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>

<http://www.bridal-vip.net/m/>

右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



35年の実績
株式会社

ブライダル

名古屋本社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network/東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪